NTT docomo

ワイドスター III
設置型端末

クイックスタートガイド

はじめに

「ワイドスターIII 設置型端末」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書および取扱説明書（PDFファイル）をお読みいただき、正しくお使いください。
最新の情報については、ドコモの法人向けホームページのサポートサイト（https://support.ntt.com）にてご確認ください。

取扱説明書について

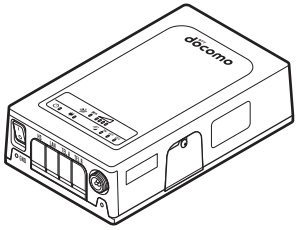
クイックスタートガイド（本体付属品）
基本的な操作について説明しています。
取扱説明書（PDFファイル）
機能の詳しい案内や操作について説明しています。 本書の最新情報は、ドコモの法人向けホームページのサポートサイトよりダウンロードできます。 •「オンラインマニュアル（取扱説明書）」ダウンロード https://support.ntt.com ※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

お知らせ

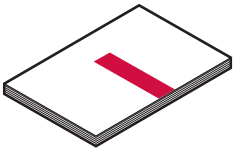
- ワイドスターIII 設置型端末をご利用になるには、ワイドスターIII ハンドセット（別売）、ワイドスターIII 屋外設置アンテナ（別売）、もしくはワイドスターIII 追尾アンテナ（別売）が必要となります。
  本書は、ワイドスターIII 設置型端末と、ワイドスターIII ハンドセットを接続してご使用になるために必要な操作や設定について記載しています。
- 本書においては、「ワイドスターIII 設置型端末」を「衛星端末」、「ワイドスターIII ハンドセット」を「ハンドセット」、「ワイドスターIII ハンドセット置台」を「ハンドセット置台」、「ワイドスターIII ハンドセットケーブル」を「ハンドセットケーブル」、「ワイドスターIII 設置型端末用ACアダプタ」を「ACアダプタ」、「ワイドスターIII 設置型端末用電源ケーブル」を「電源ケーブル」、「ワイドスターIII 追尾アンテナ」を「追尾アンテナ」、「ワイドスターIII 追尾アンテナ接続ケーブル」を「追尾アンテナ接続ケーブル」、「ワイドスターIII 屋外設置アンテナ」を「屋外設置アンテナ」と表記しています。
  また、「ワイドスターIII 衛星電話管理ツール」を「衛星電話管理ツール」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
- 本書は画面の色が「白」の場合で説明しています。
- 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

本体付属品

設置型端末（保証書付き）



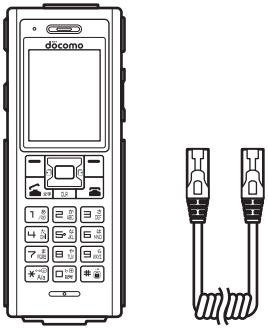
クイックスタートガイド（本書）



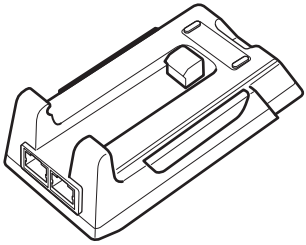
設置型端末取付金具固定用ネジ：4個
GND接続用圧着端子：1個

主なオプション品

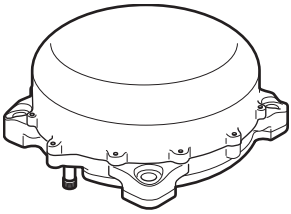
ハンドセット
（保証書付き、ハンドセットケーブル･取扱説明書含む）



ハンドセット置台
（取扱説明書含む）



追尾アンテナ
（保証書付き、取扱説明書含む）



目次

本体付属品 1
主なオプション品 1
目次 2
衛星端末のご利用について 3
安全上のご注意（必ずお守りください） 4
取り扱い上のご注意 10

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能 14
ステータスバーについて 19
待受画面の見かた 19
nanoSIMカード 20
ご使用前の確認 22
電源を入れる／切る 27
初期設定 28
暗証番号・パスワードについて 28
基本操作 29
自分の電話番号を確認する 30
文字入力について 31

電話

電話をかける 33
電話を受ける 37
通話中の操作 37
着信履歴／発信履歴 38
電話帳 39

SMS

SMSを作成して送信する 41
SMSを受信したときは 42
SMSを表示する 42
未送信のSMSを送信する／再送する 43
SMS表示中のメニュー 43

他の機器と接続する

衛星端末から利用できるデータ通信について 44
パソコンと衛星端末をLAN接続する 46
無線LAN（Wi-Fi）機能を持つ機器を接続する 48
電話機／FAXと衛星端末を接続する 49
ワイドスターIII 衛星電話管理ツールを利用する 50

「ワイドスターIII」アプリのご案内

「ワイドスターIII」アプリについて 52

付録

エラーコード一覧 53
故障かな？と思ったら 55
端末初期化 58
保証とアフターサービス 59
ソフトウェア更新 60
輸出管理規制 63
知的財産権について 63

索引

索引 64

衛星端末のご利用について

- 衛星端末は、ドコモの提供するワイドスターIIIのネットワークおよびサービスエリアに対応しています。
- 衛星端末は衛星の電波を受信しますので、衛星を見通せない場所（建物や街路樹のかげ、トンネルなど）ではご使用になれません。また、衛星を見通せる場所に移動した後も通話や通信ができないこともありますので、ご了承ください。
- 移動せずに使用している場合でも通話や通信が切れることがありますので、ご了承ください。
- 使用環境によっては、通話や通信が不安定な場合があります。また、通信中に衛星端末の電源を切ると通信中の情報が消失する場合があります。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- 衛星端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースがないともいえません、しかし、本機では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 衛星端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 衛星端末は日本国外ではご使用になれません。
- お客様ご自身で衛星端末およびハンドセットに登録された情報内容（電話帳など）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。衛星端末およびハンドセットの故障や修理、その他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- データ通信料は、送受信したデータ量に応じて課金されます。データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。
- パソコンやスマートフォンを衛星端末に接続してデータ通信を利用される場合、接続した機器のバックグラウンド通信等により送受信するデータ量が大きくなる可能性がありますので、ご注意ください。
- 紛失に備え本体認証コードやハンドセットPINなどを設定し、衛星端末、ハンドセットのセキュリティを確保してください。→P.28
  また、セキュリティ確保のため、本体認証コードなどはお買い上げ時からの変更をおすすめします。
- サービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- mopera U以外のプロバイダはサポートしておりません。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 改造された衛星端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。
  衛星端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク㊣」が衛星端末の銘板シールに表示されております。
  衛星端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 旧サービスにて使用されていた「ワイドスターII 衛星屋外設置アンテナ 01」は、ワイドスターIIIサービスでは正常な通信を保証いたしかねます。ワイドスターIIIサービスをご利用になる場合は、「ワイドスターIII 屋外設置アンテナ」をご使用ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※2）を負う可能性が想定される場合および物的損害（※3）の発生が想定される」内容です。

※1　重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
※2　軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3　物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

「安全上のご注意」は、下記の9項目に分けて説明しています。

- 衛星端末、ハンドセット、アダプタ、nanoSIMカードの取り扱いについて（共通）→P.4
- 衛星端末の取り扱いについて→P.6
- ハンドセットの取り扱いについて→P.7
- アダプタの取り扱いについて→P.7
- nanoSIMカードの取り扱いについて→P.8
- 医用電気機器近くでの取り扱いについて→P.8
- 追尾アンテナの取り扱いについて→P.9
- 屋外設置アンテナの取り扱いについて→P.9
- 材質一覧→P.10

衛星端末、ハンドセット、アダプタ、nanoSIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。また分解、改造は保証の対象外となります。

水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

水濡れ禁止

電源端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定以外のものや、製造・販売元・仕様が不明確なものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告

禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。異常が見られた場合には使用を中止してください。

禁止

電源端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

使用中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。

水濡れ禁止

お手入れの際は、消毒液や水分が隙間、電源端子、外部接続端子、マイク、スピーカ部に入らないようにしてください。
衛星端末の破損により、けが、感電などの原因となります。

指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に衛星端末の電源を切ってください。
可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。

指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。
ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。

指示

使用中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。
- 衛星端末の電源を切る。
- 電源ケーブルを抜く。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意

禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがなどの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。

禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。

指示

衛星端末を継続してご使用になる場合は温度が高くなることがありますのでご注意ください。
通話、データ通信など、長時間の使用中は、衛星端末やアダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

指示

船舶で使用する場合、船舶メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
船種によっては、まれに電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

お手入れの際は、発電機、エンジン、衛星端末の電源を切って行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

衛星端末の取り扱いについて

⚠危険

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

衛星端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
衛星端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告

衛星端末内のnanoSIMカードの挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片（カッターの刃やホチキスの針など）、燃えやすいものなど、異物が入らないようご注意ください。
また、nanoSIMカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
nanoSIMカードの故障や破損、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

衛星端末はマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
衛星端末：DC12V/DC24V

航空機へのご搭乗にあたり、衛星端末の電源を切ってください。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、衛星端末の電源を切ってください。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、衛星端末の電源を切ってください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

⚠注意

衛星端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

危険防止のため保護機構が組み込まれています。保護機構に損傷を与える可能性がある静電気が発生する場所で使用しないでください。
保護機構が破壊され、発火、破裂、発熱の原因となります。

衛星端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については以下をご参照ください。
→P.10「材質一覧」

ハンドセットの取り扱いについて

⚠警告

指示 **着信音が鳴っているときなどは、必ずハンドセットを耳から離してください。また、イヤホンマイクなどをハンドセットに装着して使用する場合は、適度なボリュームに調節してください。**
音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示 **心臓の弱い方は、着信音量の設定に注意してください。**
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、ハンドセットの電源を切ってください。**
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示 **万が一、ディスプレイ部を破損した際には、割れたガラスや露出したハンドセットの内部にご注意ください。**
ディスプレイ部のガラスは飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示 **船舶を操縦しながら使用しないでください。**
安全航行を損ない事故の原因となります。操縦者が使用するときには、船舶を安全な場所に停めてからご使用ください。

指示 **自動車を運転しながら使用しないでください。**
安全走行を損ない事故の原因となります。運転者が使用するときには、自動車を安全な場所に停めてからご使用ください。

⚠注意

禁止 **ハンドセットケーブルなどを持ってハンドセットを振り回さないでください。**
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止 **誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。**
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止 **ハンドセットが破損したまま使用しないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示 **ディスプレイを見る際は、十分に明るい場所で、ある程度の距離をとってください。**
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

指示 **ハンドセットを長時間連続使用される場合には特にご注意ください。**
長時間使用するとハンドセットの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

アダプタの取り扱いについて

⚠警告

禁止 **アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。**
感電などの原因となります。

禁止 **コンセントにつないだ状態で電源端子をショートさせないでください。また、電源端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **コンセントにアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **アダプタに変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。**
発火、発熱、感電などの原因となります。

禁止

衛星端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや電源端子、電源プラグ、ハンドセット置台に触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

アダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

衛星端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示

電源端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
電源端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意

禁止

コンセントにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

nanoSIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

nanoSIMカードを取り扱う際は指などの身体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠警告

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性がありますので、衛星端末の電源を切ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医療機関内における衛星端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

追尾アンテナの取り扱いについて

⚠警告

禁止 **通信中は追尾アンテナより、1m以上離れてください。**
通信中は追尾アンテナより電波が放射されます。

禁止 **雷が鳴り出したら、追尾アンテナには触れないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **落雷の危険がある場合、同軸ケーブルを取り付けたり取り外したりしないでください。**
感電などの原因となります。

指示 **落雷の可能性のある場所に追尾アンテナを設置する場合は、十分な避雷対策を行ってください。**
避雷対策を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示 **走行する前に、必ず追尾アンテナ取付金具や追尾アンテナがガタついていないかを確認してください。**
ガタつく場合は、再度取り付け直してください。そのまま走行すると追尾アンテナ取付金具や追尾アンテナが脱落し、後続車や人を事故に巻き込む原因となります。

指示 **追尾アンテナの取付に市販のシステムキャリアや取付フックが必要な場合は、必ず指定の製品の中から、車種にあったものを選んでご購入ください。**
各メーカーの車種別適合表でご確認のうえ、ご使用の車種に適合する製品を購入してください。指定外の製品や、ご使用の車種に対応していない製品を用いて取り付けた場合、固定力の不足により追尾アンテナ取付金具や追尾アンテナが脱落し、後続車や人を事故に巻き込む原因となります。

指示 **法定速度を守り、強風時や悪路では速度を落として運転してください。**
法定速度を超えた連続高速走行、強風時の連続走行や悪路走行をすると、ネジやボルトの緩みにより追尾アンテナ取付金具や追尾アンテナが脱落し、後続車や人を事故に巻き込む原因となります。

指示 **走行時の急発進、急ブレーキまたは急ハンドルは避けてください。**
衝撃などによるネジやボルトの緩みにより追尾アンテナ取付金具や追尾アンテナが脱落し、後続車や人を事故に巻き込む原因となります。

指示 **走行中に追尾アンテナ取付部から異常音がしたときは、すぐに停止してください。**
走行中に追尾アンテナ取付部から異常音がしたときは、車を安全な場所に停車し、ネジやボルトに緩みがないか確認してください。そのまま走行を続けると、追尾アンテナ取付金具や追尾アンテナが脱落し、後続車や人を事故に巻き込む原因となります。

指示 **追尾アンテナの取付作業を行うときは車のエンジンを切ってください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意

禁止 **風の強い日は、組立作業は行わないでください。**
追尾アンテナが落下して、けがや故障の原因となります。

禁止 **雨天時の屋外や水のかかる場所では追尾アンテナの取付作業は行わないでください。**
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止 **車体の不安定な位置に追尾アンテナを取り付けないでください。**
車体の端など不安定な位置に取り付けると、追尾アンテナが脱落し、後続車や人を事故に巻き込む原因となります。

禁止 **追尾アンテナ取付金具や追尾アンテナを取り付けたままで、車両を洗車機にかけないでください。**
追尾アンテナ取付金具が破損することにより、周辺を傷つける原因となります。

指示 **追尾アンテナの取付作業を行う際は、追尾アンテナの下に人がいないことを確認し、取り付けてください。**
追尾アンテナが落下して、けがなどの原因となります。

指示 **追尾アンテナの取付作業は広い、安全な場所で行ってください。**
坂道や狭い場所での作業は、正しく取り付けられなかったり、けがの原因となります。

屋外設置アンテナの取り扱いについて

⚠警告

禁止 **アンテナ前面に近づかないでください。**
アンテナ前面から電波が放射されますので、通信中はアンテナ前面から1m以上離れてください。

禁止 **雷が鳴り出したら、屋外設置アンテナには触れないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

落雷の危険がある場合、同軸ケーブルを取り付けたり取り外したりしないでください。

感電などの原因となります。

指示

落雷の可能性のある場所に屋外設置アンテナを設置する場合は、十分な避雷対策を行ってください。

避雷対策を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意

禁止

風の強い日は、組立作業や方向調整作業は行わないでください。

屋外設置アンテナが落下して、けがや故障の原因となります。

指示

屋外設置アンテナは、指定のポールおよび高さに従い、取り付けてください。

ポールの破損または屋外設置アンテナが落下して、けがや故障の原因となります。

指示

屋外設置アンテナの組立作業を行う際は、屋外設置アンテナの下に人がいないことを確認し、滑り止めバンドをポールに取り付けてください。

屋外設置アンテナが落下して、けがなどの原因となります。

指示

屋外設置アンテナの方向調整を行う際は、滑り止めバンドが確実に取り付けられていることを確認してから行ってください。

屋外設置アンテナが落下してけがや故障の原因となります。

材質一覧

使用箇所	材質	表面処理
本体外装、nanoSIMカードカバー	PC+ABS	なし
本体底面	アルミニウム合金	粉体塗装
ハンドセット接続端子カバー、LAN端子カバー、電話機／FAX接続端子カバー、アンテナ接続端子カバーおよび周囲、底面クッション	TPU	なし
LEDランプパネル	ガラス	なし
電源端子、アンテナ接続端子	真鍮	ニッケルメッキ
nanoSIMカード挿入口パネル	PMMA	なし
ネジ	ステンレス	なし

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）をかけないでください。**
  衛星端末、ハンドセット、ACアダプタ、nanoSIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、「保証とアフターサービス」（→P.59）をご確認ください。
- **お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。**
  - 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。**
  端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
  また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- **機器に腐食性の化学薬品がかからないようにしてください。**
  腐食性の化学薬品は、表面を傷つけたり、機器の誤動作の原因となります。
- **機器の表面を傷つける可能性があるため、清掃の際は刺激の強い洗剤や化学薬品を使用しないでください。**
- **機器を塗装しないでください。**
  故障の原因となります。また塗装した場合、保証の対象外となります。
- **機器のラベルやマーキングを取り外さないでください。**
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **衛星端末に無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたりすると内部基板などの故障、破損の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。

- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり、故障、破損の原因になります。
- **対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**
- **落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **通気を十分確保できる場所でご利用ください。**
  通気を確保できない場合、機器の発する熱で高温となり故障の原因となります。
- **狭い場所でのご利用は避けてください。**
  衛星端末の周囲（底面以外）に5cm以上の空間を開けてご利用ください。
- **ワイドスターIII 衛星電話の利用にあたっては、電波法56条に基づき保護された電波天文業務に影響を与えないよう注意する必要があります。電波天文台の近くでは、電波天文台の方向に向けてアンテナを設置しない、敷地内では電源を切るなど、電波天文観測への影響を回避するよう十分にご注意ください。**
  対象となる電波天文業務関連施設の場所については、国立天文台・総務省のWebページなどから最新情報をご確認ください。
  電波天文業務関連施設（国立天文台）
  https://prc.nao.ac.jp/freqras/ant.html
- **ガラス越しで使用しないでください。**
  ワイドスターIIIサービスを利用する際は、可能な限り屋外でご利用ください。
  地表から約36,000km離れた静止衛星を経由し通信しており、携帯電話等と異なり、非常に微弱な電波で通信をしております。
  ガラス越しにアンテナや設置型端末を設置すると、電波が減衰し安定した通信ができない場合があります。
  減衰量はガラスの種類や厚さ、また使用されるコーティングによって異なります。
  また、特殊なフィルムや反射コーティングが施されたガラスでは、より大きく減衰し室内でご利用が困難になる場合がございます。
- **Wi-Fiや電子レンジなどの電波が発生している機器の近くで使用しないでください。**
  ワイドスターIIIサービスは衛星と端末間の通信に2.4GHz帯の周波数領域を利用しているため、Wi-Fiや電子レンジ、携帯電話基地局など2.4GHz帯の周波数領域を利用している機器のご使用はお控えください。ワイドスターのアンテナ周辺部で関連の周波数領域を利用する機器が作動すると通信が不安定になる場合があります。
  上記による通信の不安定と想定される状況が発生した場合、以下の対応を確認してください。
  以下の対応で事象の改善が見られない場合、弊社問い合わせ先へご連絡をお願いします。
  - 衛星端末周辺にある機器の停止（スマートフォンのWi-Fiも含む）
  - 他の衛星端末での同事象発生の確認
  - 別の場所に移動してのご利用

衛星端末についてのお願い

- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は-20℃～60℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）をお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で衛星端末に登録されたデータは、パソコンなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。**
  万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **衛星端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **ハンドセットの電源がオフになるまで、ハンドセットを衛星端末から取り外さないでください。**
  ハンドセットの使用中に衛星端末から取り外すと、データの消失や故障の原因となります。
- **使用中に衛星端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **通常は使用しない外部接続端子カバーを閉じた状態でご使用ください。**
  水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- **磁気カードや磁気を帯びたものを衛星端末に近づけたり、挟んだりしないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、交通系ICカードなどのデータが消えてしまうことがあります。
  また、強い磁気を近づけると衛星端末の誤動作の原因となります。
- **衛星端末の冷却フィンのお手入れの際は、きれいな圧縮空気を使用し、取付金具から取り外してクリーニングしてください。**
- **衛星端末の上に重いものをのせないでください。**
  故障の原因となります。
- **衛星端末の電源を入れたままnanoSIMカードを取り外さないでください。**
- **船舶の発電機を長時間停止したままで使用しないでください。**
  船舶のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

- **衛星端末の端子カバーを、無理に取り付けたり、取り外したりしないでください。**
- **端子にケーブルを取り付ける、または端子からケーブルを取り外す際は、衛星端末の電源を切り、必要以上に力を入れないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **船舶の磁気コンパスと衛星端末の距離を離してください。**
  コンパスに誤差を生じさせる可能性があります。本衛星端末のコンパス安全距離は以下の通りです。
  スタンダードコンパス（基準磁気コンパス）：60cm
  ステアリングコンパス（操舵磁気コンパス）：40cm
- **衛星端末の電源が入っているときは、衛星からの電波を自動的に追尾しているため、アンテナ部から動作音が聞こえることがあります。**
- **無線LAN、レーダ、無線機、電子レンジなど電波を放射する機器の近くで衛星端末を使用すると、衛星端末の通信が影響を受ける場合があります。なるべく離れた場所で衛星端末をご使用ください。**

ハンドセットについてのお願い

- **ハンドセットはJIS保護等級4級の生活防水性能を有しておりますが、ハンドセット内部に浸水させたり、対応の各オプション品・関連機器に水をかけたりしないでください。**
  調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **ハンドセットに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器をイヤホンマイク端子に差した状態の場合、破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は-20℃～60℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身でハンドセットに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **ハンドセットを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **イヤホンマイク端子にイヤホンマイクなどを接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中、ハンドセットは温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **通常はイヤホンマイク端子カバーを閉じた状態でご使用ください。**
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **イヤホンマイク端子カバーを、無理に取り付けたり、取り外したりしないでください。**
- **ハンドセットの電源を入れたまま、ハンドセットを衛星端末に取り付けたり、取り外したりしないでください。**
  データの消失の原因となります。
- **ハンドセットやハンドセットのケーブルを強く引っ張らないでください。**
  コネクタがハンドセット端子から抜けたり、断線の原因となったりします。
- **イヤホンマイク端子カバーを外した状態やイヤホンマイクなどを接続した状態での使用は、生活防水となりません。**
- **水や海水の中に入れたり、シャワーなどを直接かけたりしないでください。**
  水が入り故障の原因となります。

アダプタについてのお願い

- **適正な周囲温度（0℃～40℃）の場所で使ってください。**
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、コネクタを変形させないでください。**
  故障の原因となります。

nanoSIMカードについてのお願い

- **衛星端末で使用するnanoSIMカードは専用の契約が必要です。**
- **衛星端末専用の契約をしているnanoSIMカードは、LTE／5G端末ではご使用になれません。**
- **nanoSIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにnanoSIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。**
  IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。

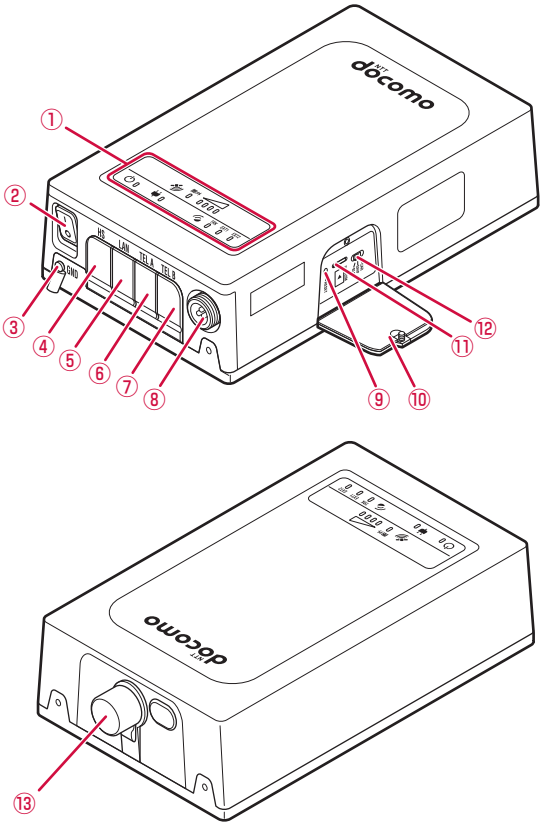
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身で、nanoSIMカードに登録されたデータは、パソコンなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。**
  万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったnanoSIMカードは法人営業担当者にお持ちください。**
- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **nanoSIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **nanoSIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **nanoSIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、衛星端末に取り付けないでください。**
  故障の原因となります。

注意

- **改造された衛星端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**
  衛星端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク㊣」が衛星端末の銘板シールに表示されております。
  衛星端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  法令で定める場合を除き、運転中に画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

各部の名称と機能

衛星端末



各部の機能

① **LEDパネル**
- 衛星端末の状態を表示　→P.15

② **電源スイッチ**
- 電源を入れる／切る　→P.27

③ **アース端子**

④ **ハンドセット接続端子（RJ-45）**
- ハンドセットを接続　→P.24

⑤ **LAN端子（RJ-45）**
- パソコンなどデータ通信を行う機器を接続　→P.46

⑥ **電話機／FAX接続（TEL A）端子（RJ-11）**
- 電話機／FAXを接続　→P.49

⑦ **電話機／FAX接続（TEL B）端子（RJ-11）**
- 電話機／FAXを接続　→P.49

※TEL B端子は鳴り分けナンバーサービスで使用します。詳しくは『取扱説明書』（PDF）をご覧ください。

⑧ **電源ケーブル接続端子（3極コネクタ）**
- 電源ケーブルを接続　→P.22

⑨ **RESETボタン**
- 衛星端末を初期化（リセット）する　→P.59

⑩ **nanoSIMカードカバー**

⑪ **nanoSIMカードスロット**
- nanoSIMカードを取り付け　→P.20

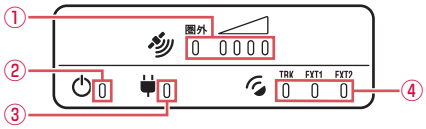
⑫ **モード選択スイッチ**
- 設置場所によって切り替え

※スイッチの切り替えについては、『取扱説明書』（PDF）をご覧ください。

⑬ **アンテナ接続端子（N型コネクタ）**
- 追尾アンテナまたは屋外設置アンテナを接続　→P.22

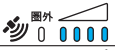
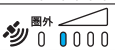
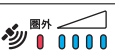
LEDパネルの見かた

衛星端末のLEDパネルで現在の状態を確認できます。



① 圏外／レベルランプ

- 電波の受信レベルの目安が確認できます。

受信レベル	状態
	受信レベルが十分
	受信レベルが良好
	受信レベルが中程度
	受信レベルが低い
	受信レベルが低く一時的に通信不可
	サービスエリア外または電波の届かない場所※1
	ネットワークに接続中※2

※1　受信状態により、ハンドセットのステータスバー表示と異なる場合があります。
※2　ネットワークに接続中の場合、サービスエリアによってレベルランプの本数は異なります。

お知らせ

- 衛星端末本体の起動後、以下の状態が5分以上継続する場合は、ネットワーク接続に問題が発生している可能性があるため、衛星端末本体の再起動とアンテナの向きの調整を実施してください。
  - 圏外ランプとレベルランプが同時に点灯する場合
  - レベルランプが不安定な場合

② 衛星端末電源ランプ

- 点灯（青）：衛星端末の電源オン
- 点滅（青）：衛星端末が起動中
- 消灯　　：衛星端末の電源オフ
- 点滅（赤）：衛星端末にエラーが発生。詳しくは『取扱説明書』（PDF）をご覧ください。

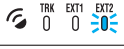
③ 外部電源ランプ

- 点灯（青）：外部電源接続中
- 消灯　　：外部電源未接続

④ アンテナランプ（TRK／EXT1／EXT2）

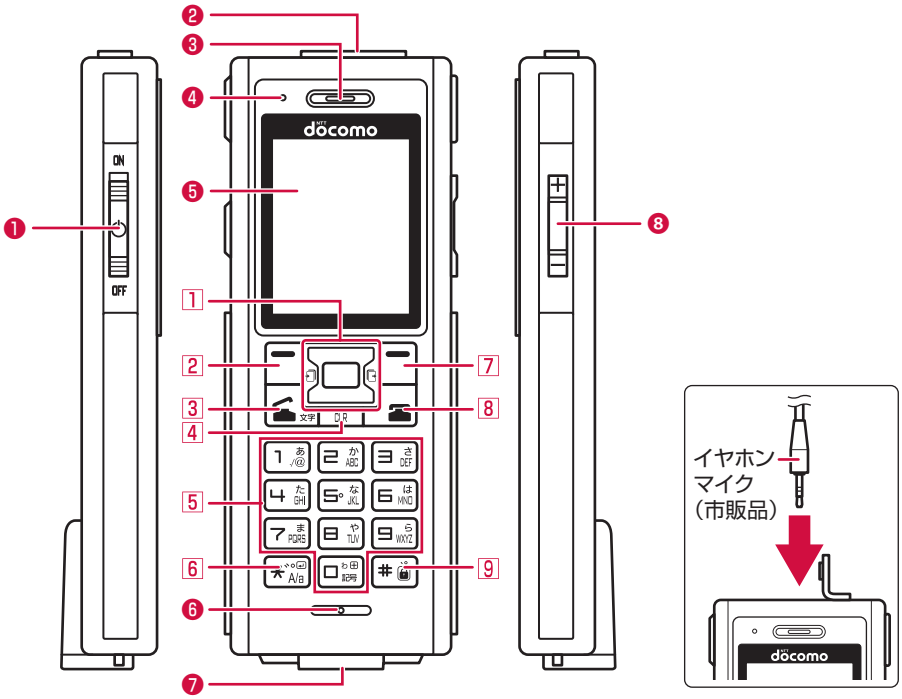
取り付けるアンテナによって点灯するランプが異なります。

- 点灯（青）：アンテナ接続済み
- 点滅（青）：アンテナ検出中
- 消灯　　：アンテナ未接続

アンテナランプ	状態
	衛星端末が追尾アンテナまたは屋外設置アンテナを検出中です。
	衛星端末が追尾アンテナを検出し、追尾アンテナとの接続が完了しました。
	衛星端末が屋外設置アンテナを検出し、屋外設置アンテナとの接続が完了しました。
	衛星端末が追尾アンテナと屋外設置アンテナ以外のアンテナを検出中です。
	衛星端末が追尾アンテナと屋外設置アンテナ以外のアンテナを検出し、接続が完了しました。

※アンテナが検出できずに約5分経過すると衛星端末電源ランプが赤色に点灯し、アンテナの接続が検知できなかったことをお知らせします。エラーコードについて詳しくは、「エラーコード一覧」をご覧ください。→P.53

ハンドセット



各部の機能

❶ **電源スイッチ**
- 電源を入れる／切る　→P.27

❷ **イヤホンマイク端子**
- イヤホンマイク（市販品）を接続

❸ **受話口**
- 相手の声をここから聞く

❹ **LEDランプ**
- 起動時や電話／SMSの着信時などに点灯または点滅　→P.18

❺ **ディスプレイ**

❻ **送話口**
- 自分の声をここから送る
  ※通話中にふさがないでください。

❼ **ハンドセットケーブル端子**
- ハンドセットケーブルを接続　→P.24

❽ **音量上／下キー**
- 着信音量や通話音量を調節

キーの機能

1 **方向キー**
決定キー
- 操作の実行
- 待受画面でメニュー表示　→P.30

上キー
- 上方向へのカーソル移動

下キー
- 下方向へのカーソル移動

左キー
- 着信履歴の表示
- 画面の切り替え、左方向へのカーソル移動

右キー
- 発信履歴の表示
- 画面の切り替え、右方向へのカーソル移動

2 **左ソフトキー**
- メニューの表示
- 項目の決定

3 **電話開始／文字入力モード切り替えキー**
- 電話をかける／受ける
- 文字入力モードの切り替え

4 **CLRキー**
- 文字の消去や1つ前の画面に戻る

5 **ダイヤルキー**
- 文字の入力
- メニューの項目選択

6 **＊／゛゜／A/aキー**
- 「＊」や「゛」「゜」などの入力
- 大文字／小文字の切り替え

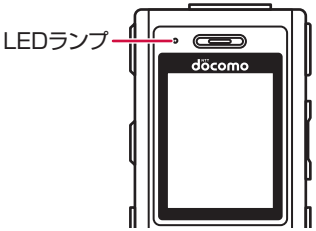
7 **右ソフトキー**
- メニューの表示
- 待受画面で緊急通報　→P.35

8 **終了キー**
- 通話／操作中の機能の終了

9 **＃／、。／ダイヤルロックキー**
- 「#」や「、」「。」の入力
- ダイヤルロック（2秒以上長押し）

LEDランプの見かた

ハンドセットのLEDランプで現在の状態を確認できます。



- ハンドセット起動処理中：点灯（緑）
- 電話着信中：点滅（緑）
- 不在着信あり：点灯（紫）
- SMS受信あり：点灯（紫）
- ソフトウェア更新完了：点滅（緑）

ステータスバーについて

画面上部のステータスバーに表示されるアイコンでさまざまな状態を確認できます。

■ 主なアイコン一覧

	受信レベル 強 ⇔ 弱　圏外
	着信音量消去設定中
	ダイヤルロック設定中
	電話帳を非表示に設定中
	不在着信あり
	留守番電話サービスの伝言メッセージあり
	未読SMSあり
	GPS位置情報利用可能
あ	かな入力モード
ｶﾅ	カタカナ入力モード
12	数字入力モード
AB	英字入力モード

お知らせ

- 表示中の機能によっては、アイコンの表示が異なったり、一部またはすべてのアイコンが表示されないことがあります。

待受画面の見かた

待受画面に表示されるアイコンで、現在の状態（ステータス）や新着の情報などを確認したり、自分の電話番号の確認や緊急通報などの操作ができます。

① **ステータスバー**
- ステータスアイコンで現在の状況を確認できます。

② **日付・時刻**

③ **情報**
- 自分の電話番号やGPS位置座標などの情報を確認できます。

④ **緊急通報**
- 緊急通報ができます。

nanoSIMカード

nanoSIMカードとは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。

- 衛星端末では、ワイドスターIIIサービスを契約されたドコモnanoUIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードはご利用になれません。
- nanoSIMカードが衛星端末に取り付けられていないと、電話、パケット通信などの機能を利用できません。
- nanoSIMカードにはPINコードという暗証番号が設定されています。
- nanoSIMカードについて詳しくは、ドコモnanoUIMカードの取扱説明書または、ドコモのホームページをご覧ください。

nanoSIMカードの取り付け／取り外し

- nanoSIMカードの取り付け／取り外しは、衛星端末を安定した場所に置いて行ってください。
- nanoSIMカードの取り付け／取り外しは、衛星端末の電源を切り、ACアダプタを抜いてから行ってください。

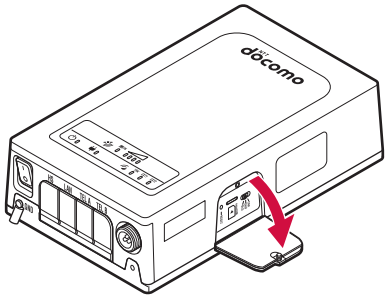
お知らせ

- nanoSIMカードを取り付け／取り外しする際には、IC（金属）部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。故障や破損の原因となります。
- 無理に取り付け、取り外しするとnanoSIMカードが破損する場合がありますので、ご注意ください。

取り付けかた

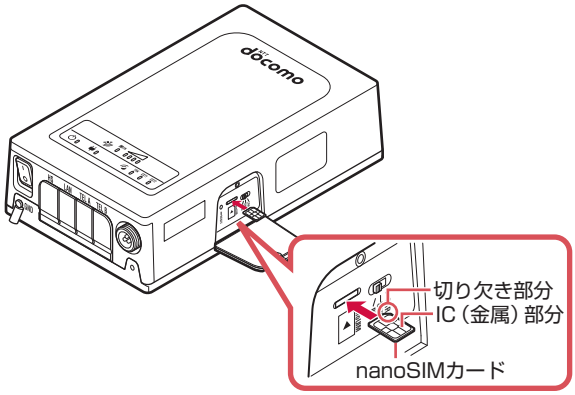
1 nanoSIMカードカバーのネジをゆるめ、矢印の方向に開ける

- ゆるめたネジは、なくさないようにご注意ください。



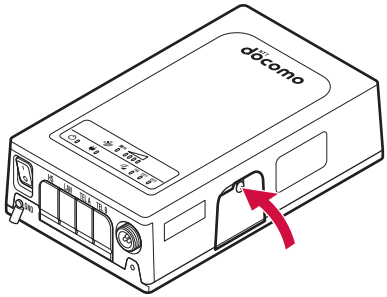
2 nanoSIMカードのIC(金属)部分を上にして、切り欠きの向きを合わせてnanoSIMカードスロットに差し込む

- nanoSIMカードを水平に差し込んでください。
- 「カチッ」と音がするまでしっかりと奥まで差し込んでください。



3 nanoSIMカードカバーを閉じて、ネジを締める

- nanoSIMカードカバーはしっかりと閉じてください。

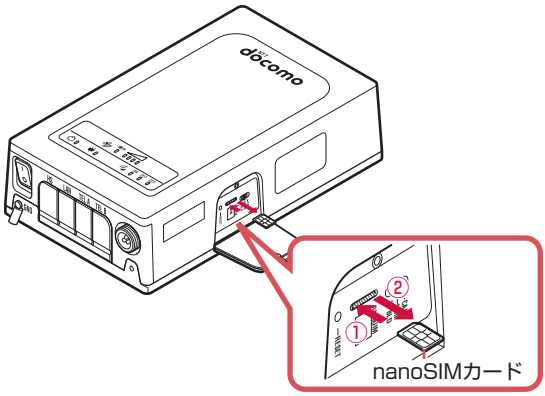


取り外しかた

1 nanoSIMカードカバーのネジをゆるめ、手前に開ける

- ゆるめたネジは、なくさないようにご注意ください。

2 nanoSIMカードを軽く押したあと(①)、まっすぐに引き出す(②)



3 nanoSIMカードカバーを閉じて、ネジを締める

- nanoSIMカードカバーはしっかりと閉じてください。
- 取り外したnanoSIMカードは、なくさないようにご注意ください。

ご使用前の確認

- CARモード設定時、設置型端末用ACアダプタ(別売)は、使用できません。

各機器の接続を確認する

ご使用の前に、各機器が接続されているかを確認してください。

1 外部電源が接続されていることを確認する

- 電源ケーブル（別売）またはACアダプタ（別売）が、衛星端末の電源ケーブル接続端子に接続されていることを確認します。
- 接続方法について詳しくは、『取扱説明書』（PDF）をご覧ください。

2 外部アンテナが接続されていることを確認する

- 追尾アンテナまたは屋外設置アンテナの接続ケーブルが、衛星端末のアンテナ接続端子に接続されていることを確認します。
- 追尾アンテナの設置方法については、「ワイドスターIII 車載設置工法書」をご覧いただくか、裏表紙の「お問い合わせ先」までお問い合わせください。屋外設置アンテナの設置方法については、「ワイドスターIII 屋外設置アンテナ 設置工法書」をご覧ください。

お知らせ

- 正しく接続されていない場合は、衛星端末を使用できない、または使用可能な機能が制限されることがあります。
- 衛星端末の使用中に、電源やアンテナとの接続を取り外さないでください。
- 衛星端末の電源は必ずアンテナの接続が完了してから入れてください。

衛星の方向への設置について

ワイドスターIIIサービスは通信衛星を経由した通信サービスとなります。
衛星との最適な通信環境を構築するには、使用される場所（緯度、経度）に応じて、適切な仰角および方位角にアンテナを設置する必要があります。
屋外設置アンテナの方向を調整する場合は、以下の表の「仰角」「方位角」をご確認ください。

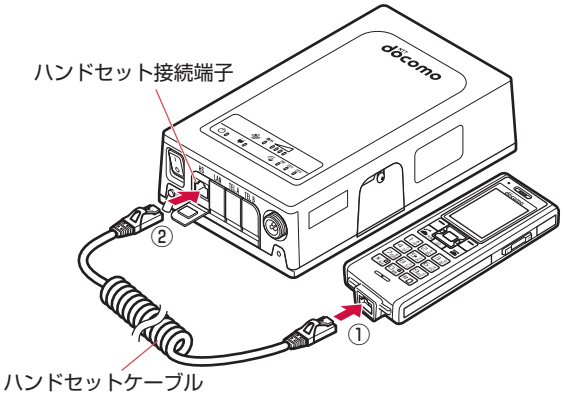
都市名	仰角	方位角	都市名	仰角	方位角	都市名	仰角	方位角
稚内	37.4	187.9	千葉	48.4	187.0	鳥取	48.7	176.9
北見	38.8	191.3	さいたま	48.2	186.2	米子	48.7	175.4
釧路	39.6	192.2	東京	48.4	186.3	松江	48.7	174.9
旭川	39.1	189.2	横浜	48.6	186.2	岡山	49.6	176.3
帯広	39.9	190.5	新潟	45.9	184.9	福山	49.8	175.3
岩見沢	39.8	188.4	長野	47.4	183.7	広島	49.8	173.7
札幌	40.0	187.8	松本	47.9	183.0	山口	50.0	172.0
小樽	39.9	187.3	富山	47.4	182.0	下関	50.1	171.0
室蘭	40.9	187.4	金沢	47.6	181.1	高松	50.0	176.5
函館	41.5	187.1	福井	48.1	180.4	徳島	50.3	177.4
青森	42.5	187.2	甲府	48.5	184.4	松山	50.5	174.2
八戸	42.8	188.4	静岡	49.3	184.2	高知	50.9	175.5
弘前	42.8	186.8	浜松	49.6	183.0	北九州	50.2	170.9
盛岡	43.7	188.0	豊橋	49.6	182.4	福岡	50.5	170.0
秋田	43.8	186.4	名古屋	49.1	181.6	佐賀	50.8	169.7
仙台	45.3	187.8	岐阜	48.8	181.3	佐世保	50.8	168.6
鶴岡	44.9	186.1	津	49.6	180.9	長崎	51.3	168.8
山形	45.4	187.0	大津	49.3	179.7	大分	51.0	172.0
福島	46.0	187.3	奈良	49.7	179.7	熊本	51.4	170.3
郡山	46.4	187.2	京都	49.3	179.6	宮崎	52.5	171.4
いわき	46.7	188.1	大阪	49.7	179.1	鹿児島	52.7	169.7
水戸	47.5	187.5	和歌山	50.2	178.5	那覇	58.0	161.7
宇都宮	47.4	186.5	神戸	49.7	178.6	石垣島	58.5	153.0
前橋	47.6	185.2	姫路	49.5	177.7			

- 主な都市におけるワイドスターIIIアンテナの仰角および方位角は、東京は東京都庁、それ以外は各都市の市役所の緯度、経度で求めた数値です。
- 方位角の数値は、偏角(地図上の北(真北)と方位磁針の北(磁北)とのずれ)を含んでいません。方位磁石（方位コンパス）で方位角を調整される場合は、偏角を考慮する必要があります。

ハンドセットを取り付ける／取り外す

ハンドセットの取り付け／取り外しは、衛星端末とハンドセットの電源を切ってから行ってください。
- コネクタを無理やり差し込んだり抜いたりすると、各接続端子やコネクタが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

取り付けかた



1 ハンドセットの接続端子に、ハンドセットケーブルのコネクタを図の向きで水平に差し込む(①)
- コネクタの向きをよく確かめ、奥まで差し込んでください。

2 衛星端末のハンドセット接続端子カバーを開く
- ハンドセット接続端子カバーは、無理に引っ張らないでください。破損することがあります。

3 衛星端末のハンドセット接続端子に、ハンドセットケーブルのコネクタを図の向きで水平に差し込む(②)
- コネクタの向きをよく確かめ、奥まで差し込んでください。

取り外しかた

1 衛星端末とハンドセットに接続されたハンドセットケーブルのコネクタを、ツメを押さえながら水平に抜く

2 衛星端末のハンドセット接続端子カバーを閉める

ハンドセット置台を利用する

ワイドスターIII ハンドセット置台（別売）を利用できます。

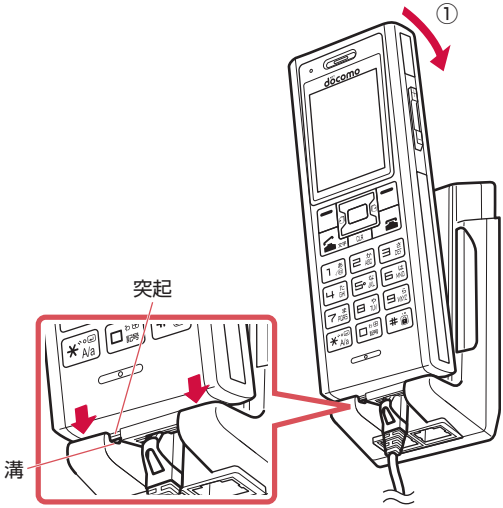
ハンドセット置台へ置く

通話中にハンドセットをハンドセット置台に置くと、通話が切れます。

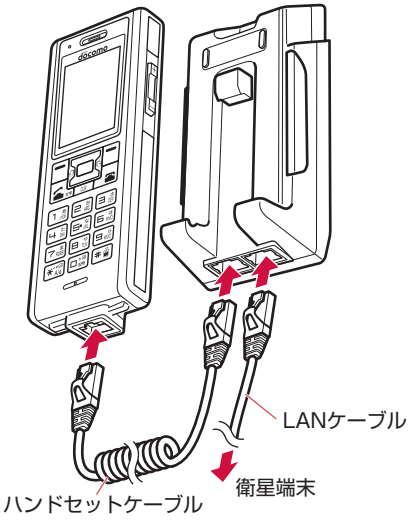
1 ハンドセットの突起をハンドセット置台の溝に合わせる

2 ハンドセットをハンドセット置台に①の方向にはめ込む

- 「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。



ハンドセット置台と衛星端末、ハンドセットとハンドセット置台を下図のように接続して、衛星端末からより離れた場所でハンドセットを使用することもできます。

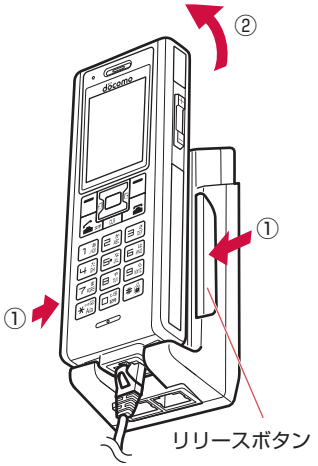


ハンドセット置台から取り外す

着信中にハンドセットをハンドセット置台から取り外すと、電話を受けることができます。

1 ハンドセット置台のリリースボタン(2箇所)を①の方向に押しながら、ハンドセットを②の方向に持ち上げる

- ハンドセット置台を垂直に立てて使用している場合は、取り外すときにハンドセットが落下しないようご注意ください。



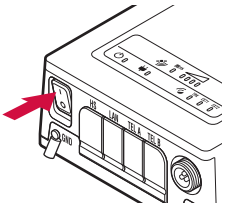
電源を入れる／切る

電源を入れる

自動車内もしくは船舶内で使用する場合は、あらかじめエンジンをかけておいてください。
自動車内で使用する場合はエンジンスイッチを「ACC」にすることでエンジンをかけなくても衛星端末を使用できますが、車両のバッテリーを早く消耗させる原因になります。
- エンジンをかけるときは、ハンドセットの電源を切ってください。

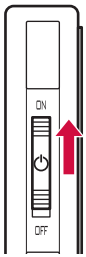
1 衛星端末の電源スイッチを「｜」側に切り替える

衛星端末が起動します。



2 ハンドセットの電源スイッチを「ON」の方向へスライドする

- ハンドセットに起動中画面が表示され、暗証番号（ハンドセットPIN）（→P.29）の入力画面が表示されます。
- 衛星端末とハンドセットを初めて接続した場合は、ハンドセットの登録などの初期設定が必要です。→P.28
- 登録が完了していないハンドセットをご使用の場合、衛星端末やハンドセットの電源を入れたり切ったりする制御ができなくなることがありますので、電源を入れた後は必ずハンドセットの登録を完了させてください。→P.28



お知らせ

- 衛星端末の電源スイッチが「｜」側になっていないとハンドセットの電源を入れることができません。衛星端末、ハンドセットの電源が入らない場合は、衛星端末とハンドセットの電源スイッチを「○」側もしくは「OFF」にした後、最初の手順からやり直してください。

電源を切る

1 ハンドセットの電源スイッチを「OFF」の方向へスライドする

2 衛星端末の電源スイッチを「○」側に切り替える

- 登録が完了していないハンドセットをご使用の場合、衛星端末やハンドセットの電源を入れたり切ったりする制御ができなくなることがありますので、電源を入れた後は必ずハンドセットの登録を完了させてください。→P.28
- 衛星端末の電源スイッチを「○」側にしてから、衛星端末本体の電源が切れて衛星端末電源ランプが消灯するまでにしばらく時間がかかります。衛星端末を操作せずにしばらくお待ちください。

お知らせ

- ハンドセットおよび衛星端末の電源スイッチを操作する以外の方法で電源を切らないでください。お客様が登録された情報や設定内容が消失するおそれがあります。
- エンジンを切るときは、ハンドセットの電源をあらかじめ切ってください。
- 衛星端末の電源が切れない場合は、再度衛星端末とハンドセットの電源を入れ直した後、暗証番号（ハンドセットPIN）（→P.29）を入力し、ハンドセットの登録などの初期設定（→P.28）を行ってから電源を切ってください。

初期設定

衛星端末とハンドセットを初めて接続し、電源を入れたときは、ハンドセットの登録などが必要になります。画面の指示に従って設定してください。

1 ハンドセットの暗証番号(ハンドセットPIN)(→P.29)を入力する

2 本体認証コード(→P.29)を入力する

3 ハンドセット登録の画面で [ー](完了)

お知らせ

- 上記の操作3の後、サービス制限についての画面が表示される場合があります。その場合は画面の指示に従って設定してください。
- 衛星端末に接続したパソコンなどの機器からデータ通信を行うには、APNへの接続が必要です。→P.50
- 初期設定が完了したハンドセットを別の衛星端末に接続した場合、改めて初期設定が必要となることがあります。

暗証番号・パスワードについて

衛星端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号やパスワードが必要なものがあります。用途ごとに上手に使い分けて、衛星端末を活用してください。

■ 暗証番号・パスワードに関するご注意

- 設定する暗証番号･パスワードには､「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号を使用しないでください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号・パスワードは他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号・パスワードが他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ネットワーク暗証番号やPINロック解除コード（PUK）を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や衛星端末、ハンドセットを当社窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙の「お問い合わせ先」までご相談ください。
  本体認証コード、ハンドセットPIN、Adminログインパスワードを忘れてしまった場合は、衛星端末やハンドセットを初期化する必要があります。→P.58
- PINロック解除コード（PUK）は、ご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。PINロック解除コード（PUK）が不明なお客様は、法人営業担当者もしくは裏表紙の「お問い合わせ先」までご相談ください。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

PINコード

nanoSIMカードには、PINコードという暗証番号があります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
PINコードは、第三者によるnanoSIMカードの無断使用を防ぐため、nanoSIMカードを取り付ける、または衛星端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の番号（コード）です。
PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたnanoSIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると､PINコードがロックされて使えなくなります｡この場合は､「PINロック解除コード（PUK)」でロックを解除してください。

PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとnanoSIMカードが完全にロックされます。その場合は、法人営業担当者にお問い合わせください。

本体認証コード

衛星端末の機能を制限するための暗証番号です。4～12桁の番号を設定できます。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

ハンドセットPIN

ハンドセットの機能を制限するためのパスワードです。4～12桁の番号を設定できます。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

Adminログインパスワード

衛星電話管理ツールにAdmin権限でログインするためのパスワードです。→P.50

基本操作

項目の選択（カーソルの合わせかた）

（方向キー）を押して、目的のメニュー項目や表示項目にカーソルを移動し、項目を選択する方法です。

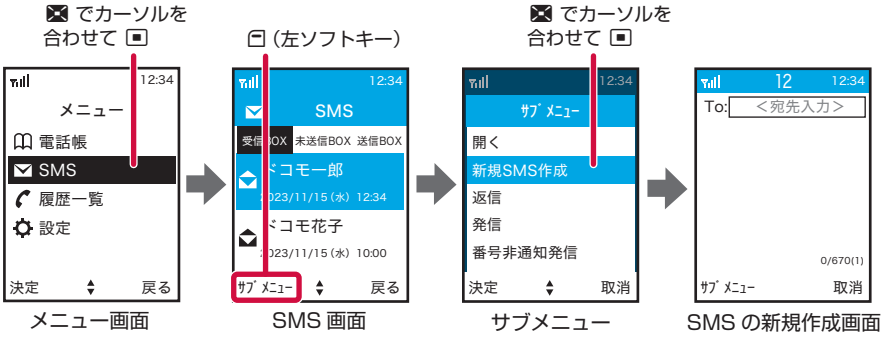
- カーソルを移動するとカーソル位置の色が変わります。
- 本書の操作手順の表記と意味は次のとおりです。

表記の例	意味
メニュー画面▶［SMS］▶（サブメニュー）▶［新規SMS作成］	メニュー画面から、で「SMS」にカーソルを合わせて■を押します。続けて、画面の下部に「サブメニュー」と表示されている側の（左ソフトキー）を押し、「新規SMS作成」にカーソルを合わせて■を押します。

例：SMSを新規に作成する

1 メニュー画面▶[SMS]▶（サブメニュー）▶[新規SMS作成]

SMSの新規作成画面が表示されます。



お知らせ

- カーソルを合わせた項目を決定するときに、●または（完了）のどちらを押しても決定できる場合があります。その場合、本書では基本的に●を押す操作で説明しています。
- 本書では、設定などが完了したときにメッセージが表示される画面で（完了）を押して完了する操作を省略している場合があります（を押さなくても設定などが完了しており影響がない場合）。

メニューの操作

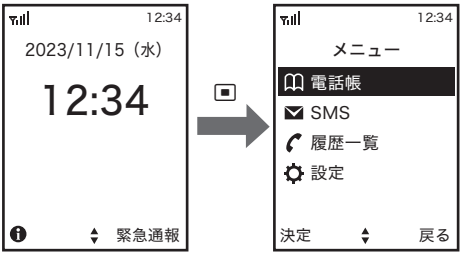
待受画面で●を押し、表示されるメニューから各種機能を選択して実行します。

- メニューを選択した後で待受画面や1つ前のメニューに戻すには、次のキーを押します。

：待受画面に戻ります。

：1つ前のメニューに戻ります。

（画面の右下に「戻る」が表示されている場合は、（右ソフトキー）で戻ることもできます）



待受画面　　メニュー画面

自分の電話番号を確認する

ご利用の電話番号を確認できます。

1 待受画面で（）

端末情報画面が表示され、自局電話番号欄に自分の電話番号が表示されます。

お知らせ

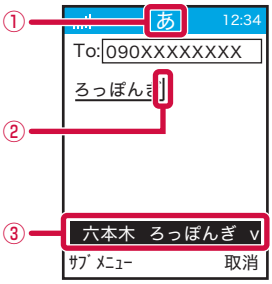
- 自分の電話番号は、衛星端末に接続したパソコンなどから、衛星電話管理ツールを利用して確認することもできます。衛星電話管理ツールについて詳しくは、『取扱説明書』（PDF）をご覧ください。

文字入力について

電話帳やSMSなどで文字を入力する方法を説明します。

- 入力できる文字の種類には、全角文字（ひらがな／漢字／カタカナ／数字）、半角文字（カタカナ／英字／数字／記号）があります。半角文字では、濁点と半濁点も1文字分にカウントされます。
- 複雑な漢字は、変形または省略して表示されます。
- 本書では文字入力の最後に■を押す操作も含めて「入力する」と表記しています。

文字入力画面の見かた



① **入力モード**

- 入力モードが表示されます。☎を押すたびに入力モードが切り替わります。
  - かな（ひらがな／漢字）
  - カタカナ
  - 英字（英字／記号）
  - 数字

② **カーソル**

- 文字が入力または挿入される位置を示します。

③ **変換候補**

お知らせ

- 電話番号を入力するときの入力モードは、数字となります。
- 文字を入力する画面によって切り替えられる入力モードは異なります。

文字を入力する

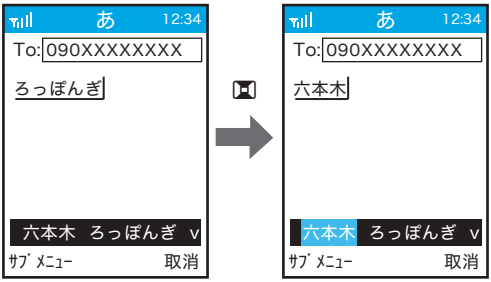
1つのキーに複数の文字が割り当ててあり、キーを押すたびに文字が切り替わります。

ひらがな／漢字で文字を入力する

例：SMSの入力画面で「六本木」と入力する

1 SMSの入力画面で「ろっぽんぎ」と入力▶[▣]

「ろ」：[9]を5回
「っ」：[4]を3回→[*]を2回
「ぽ」：[6]を5回→[*]を2回
「ん」：[0]を3回
「ぎ」：[2]を2回→[*]



- 入力中は次の操作ができます。
  - [CLR]：文字の取り消し
  - [*]：濁点や半濁点の付加、大文字／小文字の切り替え、改行（長押し）
    （例：ほ→ぼ→ぽ→ほ→…、つ→づ→っ→つ→…）
  - [#]：句読点（、。）の付加
  - [1]～[0]：数字の入力（キーを複数回押して入力候補の最後）
  - [1]（英字モード）：記号（. - @ _ / : ~）の入力
  - [0]（英字モード）：記号（! " # $ % & ' ( ) * + , ; < = > ?）、スペースの入力
  - [▣]：変換候補を選択
- 変換しないときは、[▣]を押さずに[■]を押して確定します。
- 数字モードのときは[*]で「*」および「+」、[#]で「#」を入力できます。

2 変換候補から「六本木」を選択して[■]

- 「六本木」の入力が完了します。

文字を挿入するには：
[▣]を押して挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

文字を削除するには：
- [CLR]を押すと、カーソルの左の1文字が削除されます。
- [CLR]を3秒以上押すと、すべての文字が削除されます。

お知らせ

- 入力中に[▣]を押して文字が確定された場合は、次の操作はできません。
  [*]：濁点や半濁点の付加、大文字／小文字の切り替え

電話

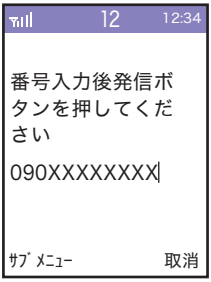
電話をかける

- ハンドセットのいずれかのボタンを押下し、待受画面を表示させた状態から発信してください。

待受画面で番号を入力して電話をかける

1 **電話番号を入力**

- 同じ市内への通話でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号を押し間違えたときは、CLR を押してください。



2

3 **通話が終わったら**

お知らせ

- 先に を押してから電話番号を入力することも可能ですが、その場合は電話番号を入力後、再度 を押してください。
- 連続して発信する場合は、終話後、数秒程度間隔を空けてから発信してください。
- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか「186」を付けておかけ直しください。→P.34
- イヤホンマイク（市販品）を使用してハンズフリーで通話する場合は、そのままお話しください。
- 自分の声や相手の声が遅れて聞こえることがあります。
- 相手が電話を切った場合でも、 を押してください。

電話をかけるときに通知／非通知を設定する

電話をかけるときに、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させるかどうかを選択できます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 相手の電話機が発信者番号を表示できるときに表示されます。

電話番号の前に「184」／「186」を付加する

1 **待受画面で、1 8 4 または 1 8 6 ▶電話番号を入力▶ 通話**

- 「184」は番号非通知、「186」は番号通知となります。

サブメニューを利用する

1 **待受画面で電話番号を入力▶ 発信（サブメニュー）**

2 **［番号非通知発信］／［番号通知発信］**

設定メニューであらかじめ通知／非通知を設定する

1 **待受画面で ■ ▶［設定］▶［ネットワークサービス］▶［発信者番号通知］**

2 **［通知］／［非通知］▶ネットワーク暗証番号を入力▶ 発信（完了）**

■ 発信者番号通知／非通知の優先について

設定メニューであらかじめ通知／非通知を設定しても、「184」／「186」を付加して発信した場合、またはサブメニューからの選択を利用して発信した場合は、そちらが優先されます。

- 「184」／「186」の付加とサブメニューからの選択を同時に行うと、ご利用方法を確認の上かけ直すようガイダンスが聞こえ、発信できないことがあります。

お知らせ

- 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか「186」をつけてからおかけ直しください。
- 電話帳に登録していない相手に「184」または「186」を付けて発信した場合、発信履歴にはその番号が付いた電話番号が記録されます。
- 国際電話では、発信者番号通知を設定していても、通信事業者によっては発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されないことがあります。この場合、着信履歴から発信できません。

緊急通報

衛星電話から警察／消防・救急／海上保安庁に緊急通報することができます。

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上保安庁への通報	118

お知らせ

- 衛星端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定に関わらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。
  なお、屋外設置アンテナ使用時は、GPSを利用した位置情報を緊急通報受理機関に通知できません。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- nanoSIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中、ソフトウェア更新中は緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- 110番、118番、119番などの緊急通報をおかけになった場合は、衛星端末からかけていることを伝え、警察機関などの緊急通報受理機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号と現在地を明確に伝えてください。
  または、電波が途中で切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らずに、10分程度は着信できる状態にしておいてください。
- ダイヤルロック中などの場合も、画面右下に「緊急通報」が表示されているときは、を押して緊急通報をかけることができます。
- 着信拒否設定がオンの場合でも、緊急通報を発信すると緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否設定は無効になります。
- 緊急通報発信時は、お客様の設定に関わらずGPSの設定がオンになります。この設定変更は終話後約20秒間継続します。
- 緊急通報受理機関からの着信、および着信後約20秒間はお客様の設定に関わらず着信します。

警察／消防・救急へ通報する

- 消防・救急への緊急通報は、東京都（都道府県番号31）のみご利用可能です（2023年9月現在）。

1 1 1 0 ／ 1 1 9

2

音声ガイダンスが流れます。
- 都道府県番号がわかっているときは、都道府県番号を入力してください。警察／消防・救急へつながります。
- 都道府県番号がわからないときは、操作3へ進みます。

3

都道府県番号を検索する画面が表示されます。

4 呼び出したい都道府県番号の頭文字を選択

選択した行の頭文字から始まる地域名が表示されます。

5 呼び出したい都道府県番号を選択

警察／消防・救急へつながります。

都道府県番号一覧

行	ご利用地域	番号
ア	愛知	46
	青森	25
	秋田	28
	石川	43
	茨城	32
	岩手	26
	愛媛	61
	大分	67
	大阪	50
	岡山	56
	沖縄	70
カ	香川	60
	鹿児島	69
	神奈川	37
	岐阜	45
	京都	49
	熊本	66
	群馬	34
	高知	62

行	ご利用地域	番号
サ	埼玉	35
	佐賀	64
	滋賀	48
	静岡	41
	島根	55
タ	千葉	36
	東京	31
	徳島	59
	栃木	33
	鳥取	54
	富山	42
ナ	長崎	65
	長野	40
	奈良	52
	新潟	38

行	ご利用地域	番号
ハ	兵庫	51
	広島	57
	福井	44
	福岡	63
	福島	30
	北海道　旭川	22
	北海道　北見	24
	北海道　釧路	23
	北海道　札幌	20
	北海道　函館	21
マ	三重	47
	宮城	27
	宮崎	68
ヤ	山形	29
	山口	58
	山梨	39
ワ	和歌山	53

お知らせ

- 待受画面で（緊急通報）▶［警察（110）］／［消防・救急（119）］▶都道府県番号（地域番号）を選択して または（通話）を押しても、緊急通報がかけられます。
- 本書記載の都道府県番号は厚生労働省や総務省が定める都道府県番号や都道府県コードとは異なり、ワイドスター独自の番号となります。

海上保安庁へ通報する

1 1 1 日

2

海上保安庁へつながります。

お知らせ

- 待受画面で（緊急通報）▶［海上保安庁（118）］を押しても、緊急通報がかけられます。

電話を受ける

1 電話がかかってくると着信音が鳴り、LEDランプが点滅する

着信中の操作

- 音量下キーを押すと、電話を受けずに切断（着信拒否）できます。

2

3 通話が終わったら

お知らせ

- 待受画面で■▶［設定］▶［キーパッド設定］▶［エニーキー応答設定］を［On］に設定すると、ダイヤルキーを押しても電話に出ることができます。
- 相手が電話を切った場合でも、音量下キーを押してください。
- 通話していないときに音が鳴った場合は、音量下キーを押して音を止めてください。

通話中の操作

通話中に保留する

1 通話中に（保留）／ CLR

- 通話が保留になり、通話保留音が流れます。
- 保留中も発信側に通話料金がかかります。

2 通話を再開するときは（通話）／ CLR

通話中に受話音量を調節する

レベル1（最小）～レベル7（最大）の7段階で調節します。

1 通話中に音量上／下キーを押す

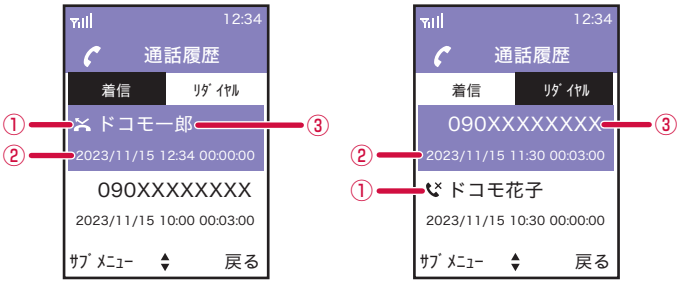
- （マイクOFF）を押すと、自分の声をミュートできます。
- 通話中に調節した受話音量は、衛星電話管理ツールで設定した受話音量には反映されません。

着信履歴／発信履歴

着信履歴／発信履歴は、最新の履歴からそれぞれ100件まで保存されます。
- 着信履歴／発信履歴はハンドセット内に保存されます。

1 待受画面で ／

- で画面を切り替えることができます。
- 待受画面で ▶［履歴一覧］と操作しても、着信履歴／発信履歴一覧を表示することができます。



① **不在着信**
② **発着信日時**
③ **相手の名前／電話番号**

- 着信時に電話に出られなかったときは、着信履歴に「」が表示されます。発信時に相手が不在の場合は、発信履歴に「」が表示されます。
- 着信時に相手の電話番号が通知されなかったときは、着信履歴に非通知による着信があったことが表示されます。

2 履歴にカーソルを合わせる▶

着信履歴／発信履歴を表示中のメニュー

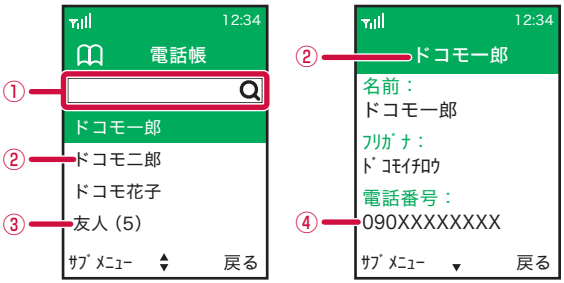
着信履歴／発信履歴一覧で相手にカーソル▶（サブメニュー）

発信	選択した相手に発信します。
番号非通知発信	番号を非通知で発信します。→P.34
番号通知発信	番号を通知して発信します。→P.34
SMS作成	SMSを作成します。→P.41
電話帳登録	電話帳に登録します。→P.39
迷惑電話ストップ	指定した番号からの着信を拒否します。
削除	履歴を削除します。
全登録削除	履歴をすべて削除します。

電話帳

衛星端末で使用できる電話帳について

衛星端末では、ハンドセットの電話帳を使用できます。
- 電話帳登録件数は最大200件です。グループ登録は最大100件です。
- 電話帳に登録している名前と電話番号が発着信中、呼出中、通話中の画面に表示されます。



① **検索欄**
② **名前**
③ **グループ名（登録数）**
④ **電話番号**

電話帳に登録する

ハンドセットの電話帳に登録します。
- お客様ご自身でハンドセットに登録された情報内容（電話帳など）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。ハンドセットの故障や修理、その他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

1 待受画面で ■ ▶[電話帳]▶カーソルが検索欄にある状態で 一（サブメニュー）▶[新規登録]

2 「名前」欄に名前を入力

3 「フリガナ」欄にフリガナを入力

4 「電話番号(必須)」欄に電話番号を入力
- 電話番号は市外局番から入力します。

5 [着信自動応答]
- ■を押すたびに「On」／「Off」が切り換わります。

6 [着信拒否]
- ■を押すたびに「On」／「Off」が切り換わります。
- 着信自動応答と着信拒否を同時にOnに設定することはできません。

7 一（登録）

電話帳を編集する

1 待受画面で ■ ▶[電話帳]▶編集する電話帳を選択

- 編集する電話帳の詳細画面が表示されます。

2 (サブメニュー)▶[編集]▶内容を編集▶ (登録)

- 削除する場合は、[削除] ▶ (はい)と操作します。

グループを登録する

1 待受画面で ■ ▶[電話帳]▶カーソルが検索欄にある状態で (サブメニュー)▶[新規グループ登録]

2 「グループ名」と「フリガナ」を入力▶ (登録)

3 グループに登録する名前を選択▶ (終了)

電話帳から電話をかける

電話をかける相手を、電話帳から呼び出します。

1 待受画面で ■ ▶[電話帳]

2 検索欄に語句を入力

- 入力した語句を含む電話帳が一覧表示されます。

3 かける相手にカーソル▶ (サブメニュー)▶[発信]

お知らせ

- 電話帳を検索する場合、電話帳の「名前」欄に登録した文字列で検索できます。フリガナでの検索はできません。

電話帳表示中のメニュー

電話帳一覧画面で名前にカーソル▶ (サブメニュー)

発信	選択した相手に発信します。
番号非通知発信	番号を非通知で発信します。→P.34
番号通知発信	番号を通知して発信します。→P.34
SMS作成	SMSを作成します。→P.41
編集	電話帳を編集します。
削除	電話帳を削除します。

電話帳詳細画面で (サブメニュー)

編集	電話帳を編集します。
削除	電話帳を削除します。

SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

- 受信したSMSは衛星端末に保存され、ハンドセットは衛星端末からSMSを取得して表示します。また、未送信SMSと送信済みSMSはハンドセットに保存されます。
- SMSの詳しい操作方法や、受信拒否・送達通知や有効期間などの設定については、『取扱説明書』（PDF）をご覧ください。
- 送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス（SMS）」をご覧ください。
  https://www.docomo.ne.jp/service/sms/

SMSを作成して送信する

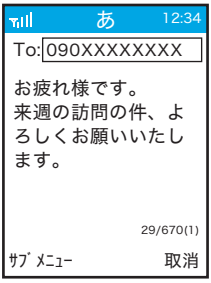
1 待受画面で ■ ▶[SMS]

2 （サブメニュー）▶[新規SMS作成]

3 宛先欄(To:)を選択▶宛先を入力

- （電話帳）を押すと電話帳に登録済みの宛先を入力できます。

4 ▶メッセージを入力



5 （サブメニュー）▶[送信]

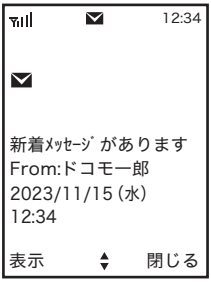
- SMSが送信されます。
- 送信したSMSは「送信BOX」で確認できます。
- （サブメニュー）▶［保存］／［削除］を選択すると、入力したSMSの下書き保存や削除ができます。

お知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者のときは、「+」、国番号、相手先の携帯電話番号の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まるときは先頭の「0」を除いて入力します。また「010」、国番号、相手先携帯電話番号の順に入力しても送信できます。
- 宛先に“#”または“*”がある場合、SMSを送信できません。
- 宛先の電話番号に184／186を付与した場合はSMSを送信できません。
- SMSの送信結果（成功／失敗）がすぐに通知されない場合、SMSの送受信が進行中である可能性があります。この場合、SMSの送受信が完了するまでお待ちください。また、衛星端末本体の電源を切らないでください。SMSが消失する可能性があります。

SMSを受信したときは

SMSを受信すると、待受画面に受信したことをお知らせするメッセージが表示されます。



- （表示）を押すと、SMSの詳細画面が表示されます。
- （閉じる）を押すと、待受画面に戻ります。

SMSを表示する

1 待受画面で ▶[SMS]

2 でBOXを選択

- 「受信BOX」：受信したSMS
- 「未送信BOX」：未送信のSMS
- 「送信BOX」：送信済みのSMS

3 表示したいSMSを選択

- 選択したSMSの詳細が表示されます。

お知らせ

- 受信BOX／未送信BOX／送信BOXに保存できる最大件数は各100件です。

未送信のSMSを送信する／再送する

1 待受画面で ■ ▶[SMS]

2 [未送信BOX]▶送信したいSMSを選択

3 (サブメニュー)▶[送信]

- SMSが送信されます。
- 送信したSMSは「送信BOX」で確認できます。

SMS表示中のメニュー

SMSの各BOXの一覧画面およびSMSの詳細画面で(サブメニュー)

- 画面によって表示される項目は異なります。

開く	SMSの詳細画面を表示します。
新規SMS作成	SMSを新規に作成します。→P.41
返信	SMSに返信します。
発信	SMSの差出人に電話をかけます。
番号非通知発信	SMSの差出人に番号非通知で電話をかけます。
番号通知発信	SMSの差出人に番号通知で電話をかけます。
SMS問合せ	新着のSMSがあるかどうかを確認します。
削除	SMSを削除します。
保護／保護解除	SMSを保護／保護解除します。
全削除	すべてのSMSを削除します。

他の機器と接続する

衛星端末から利用できるデータ通信について

衛星端末とパソコンなどの接続機器をLANケーブル（市販品）で接続して、各種設定を行うとデータ通信を利用できます。

お知らせ

- 衛星端末に接続したパソコンなどの機器のブラウザから、衛星電話管理ツールを利用して、衛星端末の状態の確認や、インターネット接続／各種暗証番号などの設定ができます。→P.50

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンなどの機器の動作環境は、次のとおりです。機器のシステム構成により異なる場合があります。

■ 対応機器

LANポートを備えたWindowsパソコン、またはiOS／Android搭載のスマートフォンなどの機器

■ 対応ブラウザ（衛星電話管理ツール対応）

Microsoft Edge
Safari
Chrome
※2023年8月以降のブラウザをご利用ください。

お知らせ

- 動作環境の最新情報については、ドコモの法人向けホームページのサポートサイト（https://support.ntt.com）にてご確認ください。
- OS をアップグレードした場合の動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

データ通信に必要な機器

衛星端末以外に、次の機器が必要です。
- LANケーブル（市販品）
- パソコンなどの接続機器（市販品）

ご利用時の注意事項

データ通信をご利用になる前に、ワイドスターサービスおよびインターネットサービスプロバイダの契約内容をご確認ください。

インターネットサービスプロバイダの利用

パソコンでインターネットを利用する場合、ご利用になるインターネットサービスプロバイダのお申し込みおよび利用料が必要です。この利用料は、ワイドスターサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。詳細はご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uがご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。
- mopera Uをご利用の場合は、ワイドスターサービスの利用料とあわせてのご請求となります。

接続先(プロバイダなど)

データ通信を行うときはパケット通信対応の接続先をご利用ください。

- mopera Uのサービス内容・接続設定方法については、mopera Uのホームページをご覧ください。
  http://www.mopera.net/

データ通信の条件

通信を行うには、次の条件が必要です。

- ワイドスターサービスエリア内であること
- アクセスポイントがパケット通信に対応していること

※上記の条件が整っていても、ネットワークが混雑していたり、電波状態が悪かったりするときは通信できない場合があります。

データ通信と音声電話を使用する場合

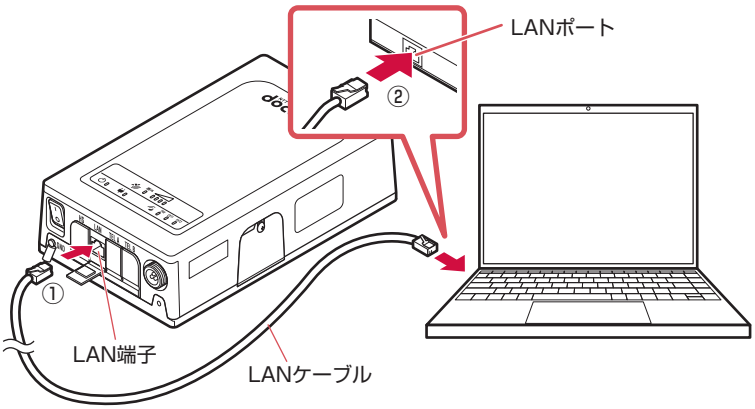
- 設置環境や通信状況によっては、データ通信中に音声電話を利用したときにデータ通信が切断されたり、音声電話中にデータ通信ができない場合があります。
- データ通信を利用する場合、意図しない通信（接続した機器のバックグラウンド通信やインターネットからの通信など）で通信料が高額になる可能性がありますのでご注意ください。

パソコンと衛星端末をLAN接続する

LANケーブル（市販品）を使用してパソコンと衛星端末を取り付ける方法について説明します。

- データ通信中にLANケーブルを取り外さないでください。データ通信が切断され、誤動作やデータ消失の原因となります。
- 使用する全ての機器の電源を切ってから取り付け／取り外してください。

取り付けかた



1 衛星端末のLAN端子カバーを開き、LANケーブル（市販品）の向きを確認して、LAN端子へ水平に差し込む（①）

- LANケーブルの向き（裏表）をよく確かめ、衛星端末に水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 LANケーブルの向きを確認して、パソコンのLANポートへ水平に差し込む（②）

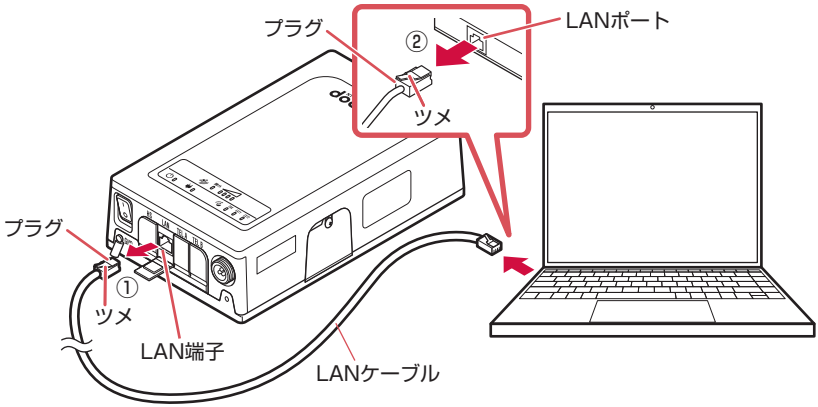
- LANケーブルの向き（裏表）をよく確かめ、パソコンに水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

3 衛星端末とパソコンの電源を入れる

お知らせ

- 衛星端末に接続したパソコンからデータ通信を行うには、APNへの接続が必要です。→P.50

取り外しかた



1 衛星端末側のLANケーブルのプラグのツメを押さえながら引き抜き、LAN端子カバーを閉じる(①)

2 パソコン側のLANケーブルのプラグのツメを押さえながら引き抜く(②)

お知らせ

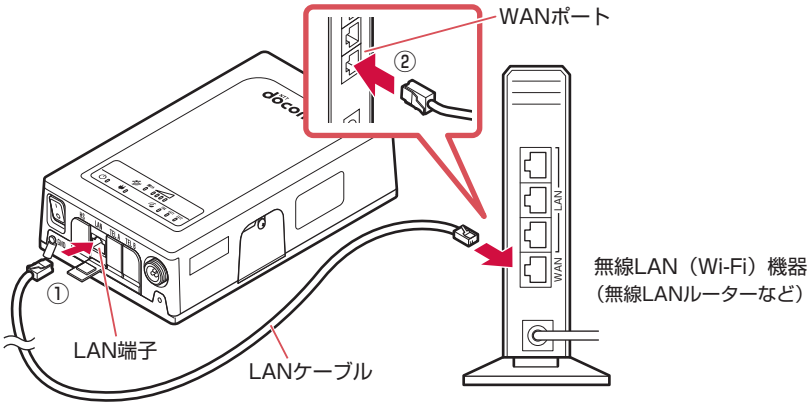
- 取り外すときは、必ずLANケーブルのプラグのツメを押さえながら引き抜いてください。
- 無理やり差し込んだり抜いたりすると、プラグが破損あるいは故障する場合がありますので、ご注意ください。

無線LAN（Wi-Fi）機能を持つ機器を接続する

LANケーブル（市販品）を使用して、無線LANルーター（市販品）など無線LAN（Wi-Fi）機能を持つ機器と衛星端末を取り付ける方法について説明します。

- データ通信中にLANケーブルを取り外さないでください。データ通信が切断され、誤動作やデータ消失の原因となります。
- 使用する全ての機器の電源を切ってから取り付け／取り外してください。
- 衛星端末に無線LAN（Wi-Fi）機能を持つ機器を接続する前に、接続機器の取扱説明書をよくお読みください。

取り付けかた



1 衛星端末のLAN端子カバーを開き、LANケーブル（市販品）の向きを確認して、LAN端子へ水平に差し込む（①）

- LANケーブルの向き（裏表）をよく確かめ、衛星端末に水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 LANケーブルの向きを確認して、無線LAN（Wi-Fi）機器のWANポートへ差し込む（②）

- LANケーブルの向き（裏表）をよく確かめ、無線LAN（Wi-Fi）機器に「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

3 衛星端末と無線LAN（Wi-Fi）機器の電源を入れる

お知らせ

- 無線LAN（Wi-Fi）機器を衛星端末に接続して利用する際は、ブリッジモードやアクセスポイントモードに設定の上、ルーター機能はOFFにしてください。
- 衛星端末およびアンテナ他周辺機器近傍で無線LAN（Wi-Fi）機能を使用する際は、5GHz帯をご使用ください。2.4GHz帯を使用すると衛星との通信に悪影響を及ぼす原因となります。
- 接続機器によって生じた故障や損失につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電話機／FAXと衛星端末を接続する

衛星端末にアナログ電話機またはFAX機を接続して、通常の電話機やFAXと同様に使用することができます。

必要な機器

- モジュラーケーブル（市販品）
- アナログ電話機（市販品）
- G3 FAX機（市販品）※

※すべてのG3 FAX機でのご利用を保証するものではありません。

お知らせ

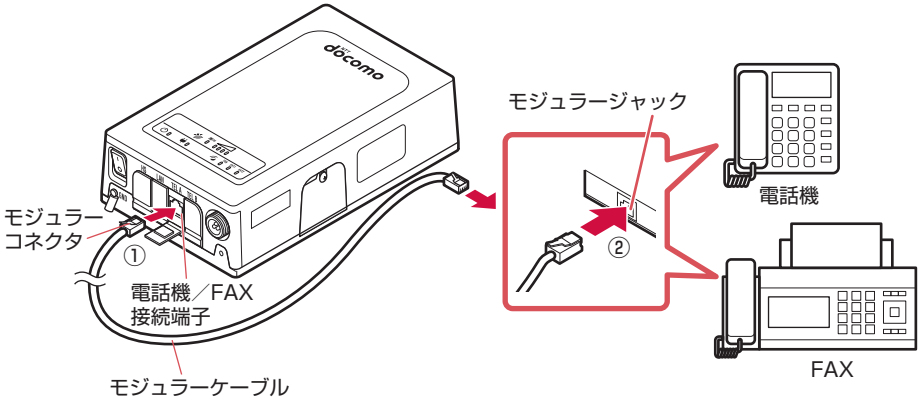
- ワイドスターIIIサービスは固定電話回線と同じ方式でFAXを送受信しますが、固定回線と比較すると遅延が大きいなど、特殊な条件での通信となります。このため通信状況や接続する機器、通信相手の環境等によっては、正常に送受信できない場合があります。
- ECM（Error Correction Mode）機能を利用できる機器を推奨します。送信側FAX機、受信側FAX機双方にECM対応機器を利用することで、ECMの誤り訂正によってより安定したFAX送受信が期待できます。

電話機／FAXと衛星端末の取り付けかた

モジュラーケーブル（市販品）を使用して、アナログ電話機またはG3 FAX機と衛星端末を取り付ける方法について説明します。

- 使用する全ての機器の電源を切ってから取り付け／取り外してください。

取り付けかた



1 衛星端末の電話機／FAX接続端子カバーを開き、モジュラーケーブル（市販品）の向きを確認して、電話機／FAX接続端子へ水平に差し込む（①）

- 上図はTEL A端子に接続する操作を例としています。
  ※TEL B端子は鳴り分けナンバーサービスで使用します。詳しくは『取扱説明書』（PDF）をご覧ください。
- モジュラーケーブルの向き（裏表）をよく確かめ、衛星端末に水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 モジュラーケーブルの向きを確認して、電話機／FAXのモジュラージャックへ水平に差し込む（②）

取り外しかた

1 衛星端末側のモジュラーケーブルのプラグのツメを押さえながら引き抜き、電話機／FAX接続端子カバーを閉じる

2 電話機／FAX側のモジュラーケーブルのプラグのツメを押さえながら引き抜く

お知らせ

- 取り外すときは、必ずモジュラーケーブルのプラグのツメを押さえながら引き抜いてください。
- 無理やり差し込んだり抜いたりすると、プラグが破損あるいは故障する場合がありますので、ご注意ください。

ワイドスターIII 衛星電話管理ツールを利用する

衛星端末に接続したパソコンなどの機器のブラウザから、「ワイドスターIII 衛星電話管理ツール」を利用して、衛星端末の状態の確認や、インターネット接続／各種暗証番号などの設定ができます。
また、衛星端末に接続したパソコンなどの機器からデータ通信を行うには、あらかじめAPNへの接続が必要です。

お知らせ

- 衛星端末との接続ができず、衛星電話管理ツールにアクセスできない場合は、「故障かな？と思ったら」の「接続」（→P.57）をご覧ください。

APNに接続する／APNから切断する

ここでは、衛星端末にAPNとして「mopera U」が登録されている場合を例にして説明します。
APNの追加や編集について詳しくは、『取扱説明書』（PDF）をご覧ください。

お知らせ

- パソコンなどの機器から複数台同時にAPNに接続／APNから切断をしたい場合は、機器ごとに操作が必要となります。

1 パソコンなどの機器でブラウザを起動する

2 URL入力欄に「http://192.168.0.1」を入力する

- 衛星電話管理ツールのログイン画面が表示されます。

3 ユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」をクリックする

- お買い上げ時のユーザー名は「admin」です。
- お買い上げ時のパスワードは「admin1234」です。
- 正しいユーザー名やパスワードが不明の場合は、管理者にご確認ください。

4 APNの一覧から「mopera U」を選択▶「接続」をクリック

- 「接続」が「切断」に変わったら接続完了です。

5 パソコンなどの機器でデータ通信ができることを確認する

6 データ通信を切断するには「切断」をクリック

衛星電話管理ツールを利用する

1 パソコンなどの機器でブラウザを起動する

2 URL入力欄に「http://192.168.0.1/setting」を入力する

- 衛星電話管理ツールのログイン画面が表示されます。

3 ユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」をクリックする

- お買い上げ時のユーザー名は「admin」です。
- お買い上げ時のパスワードは「admin1234」です。
- 正しいユーザー名やパスワードが不明の場合は、管理者にご確認ください。

4 カテゴリタブやメニューから項目を選択し、設定／確認

お知らせ

- セキュリティの確保のため、お買い上げ時のパスワードは変更してお使いになることをおすすめします。
  パスワードを変更するには、衛星電話管理ツールの「サービス」タブから「ユーザー管理」の［編集］をクリックし、画面の指示に従って操作します。
- 衛星電話管理ツールについて詳しくは、『取扱説明書』（PDF）をご覧ください。

「ワイドスターIII」アプリのご案内

「ワイドスターIII」アプリについて

お客様のスマートフォンをワイドスターIIIのハンドセットとしてご利用いただける専用アプリをご用意いたしました。本アプリを活用することで、より便利にワイドスターIIIをご利用いただけます。

アプリ概要

本アプリをインストールすることで、お手持ちのスマートフォンをワイドスターIIIのハンドセットとしてご利用いただけます。アプリ内では通話やSMS等の通信機能に加え、データ残量や利用状況等を確認することができます。なお、本アプリはWi-Fi経由でご利用いただけます。

主な機能

- 電話の発着信
- SMS
- 緊急通報
- 衛星端末情報の確認
- データ残量の確認

アプリのインストール方法

お手持ちのスマートフォンで以下のQRコードを読み取っていただき、インストールを行ってください。

App Store：

Google Playストア：

※本アプリのダウンロードには別途通信料がかかり、お客さまのご負担となります。衛星通信を利用してダウンロードする場合、一般的なモバイルデータ通信と比較し料金が高額となりますので、ご注意ください。

※本アプリの詳細な利用方法は、アプリ内右上の「⋮」から「ユーザーガイド（ヘルプ）」をご参照ください。

付録

エラーコード一覧

衛星電話管理ツール（→P.50）の「障害情報」またはハンドセットのディスプレイにエラーコードが表示された場合は、以下をご参照ください。

エラーコード	内容	対処方法
300: TA: Azimuth motor fault	衛星端末に接続された追尾アンテナ※の内蔵モーターとの通信が正しくありません。	衛星端末と追尾アンテナ※の接続が正しいかご確認ください。 接続が正しい場合は、エラーコードをメモいただいた上で、法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。
301: TA: Elevation motor fault	衛星端末に接続された追尾アンテナ※の内蔵モーターとの通信が正しくありません。	衛星端末と追尾アンテナ※の接続が正しいかご確認ください。 接続が正しい場合は、エラーコードをメモいただいた上で、法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。
302: TA: EEPROM fault CRC error	衛星端末に接続された追尾アンテナ※の内蔵メモリーにCRCエラーを検出しました。	衛星端末と追尾アンテナ※の接続が正しいかご確認ください。 接続が正しい場合は、エラーコードをメモいただいた上で、法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。
303: TA: GNSS communication or configuration error	衛星端末に接続された追尾アンテナ※の衛星測位システムに異常を検出しました。	衛星端末と追尾アンテナ※の接続が正しいかご確認ください。 接続が正しい場合は、エラーコードをメモいただいた上で、法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。
304: TA: Micro controller temperature fault	追尾アンテナ※内部で異常な温度を検知したため、通信を停止しました。	追尾アンテナ※は-20℃～60℃の環境でご使用ください。
305: TA: HPA temperature fault	追尾アンテナ※内部で異常な温度を検知したため、通信を停止しています。	追尾アンテナ※は-20℃～60℃の環境でご使用ください。
306: TA: Accelerometer/ Gyroscope sensor area temperature fault	追尾アンテナ※のジャイロスコープで温度異常を検知しました。衛星を追尾する機能が低下している可能性があるため、通信が不安定になることがあります。	追尾アンテナ※は-20℃～60℃の環境でご使用ください。
307: TA: Internal data bus fault	追尾アンテナ※内部において、通信が失敗もしくはタイムアウトしました。	衛星端末の電源を入れ直してください。それでも改善しない場合は法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。
308: TA: Azimuth zero position reference sensor fault	追尾アンテナ※の方位角のゼロ点センサに異常が発生しました。衛星を追尾する機能の精度が低下している可能性があります。	衛星端末の電源を入れ直してください。それでも改善しない場合は法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。

エラーコード	内容	対処方法
309: TA: Board intercommunication fault	追尾アンテナ※内のロジックボードにて異常が発生しているため、追尾アンテナ※の性能が低下している可能性があります。	衛星端末の電源を入れ直してください。それでも改善しない場合は法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。
200: EA: HPA Over temperature fault	屋外設置アンテナ内部の温度が高温になっているため、一時的に通信を停止しています。	アンテナ内部の温度が下がるまでしばらく待ってからご使用ください。
201: EA: AMB Over temperature fault	屋外設置アンテナ周辺の温度が高すぎる、もしくは低すぎます。	屋外設置アンテナは-20℃～60℃の環境でご利用ください。
202: EA: Supply voltage Critical fault	屋外設置アンテナへの電力供給に異常が発生したことから、安全のため通信を停止しています。	衛星端末の電源を一度切り、アンテナケーブルの接続状況をご確認ください。 確認後も改善しない場合は法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。
100: MST: AP-CP communication failure	ソフトウェアの動作不具合あるいは状態不一致により、衛星端末を再起動します。	衛星端末が再起動しますので、しばらく待った後に再度利用を開始してください。
101: MST: Any Service Failure	衛星端末本体の一部サービスの起動に失敗しました。	衛星端末の電源を入れ直してください。それでも改善しない場合は法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。
102: MST: No cable connection	アンテナの接続を検知できません。	追尾アンテナ※、もしくは屋外設置アンテナが正しく接続されているか確認してください。 アンテナケーブルが正しく接続されているか、断線していないか確認してください
104: MST: Simple log transfer failed	衛星電話ログの転送に失敗しました。	本エラーが発生したことをドコモ保守者にお伝えください。後続の指示があった場合はそれに従い衛星端末を操作してください。
105: MST: Over current at Active Antenna Port	アンテナの接続で異常を検知しました。	アンテナ、アンテナケーブルが正しく接続されているかご確認ください。
106: MST: Calibration failed	アンテナケーブルに異常を検知しました。	アンテナ、アンテナケーブルが正しく接続されているかご確認ください。 正しいアンテナケーブルが使用されているかご確認ください。
107: MST: Battery voltage drop detected	電池パックが過放電状態になっている可能性があります。	直ちに使用を中止し、法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。
108: MST: Battery Temperature error detected	電池パックが過熱しているため充電を一時停止しています。	電池パックの温度が高温になったため、一時的に充電を停止しています。 電池パックの温度が低下するまでしばらくお待ちください。 なお、充電以外の衛星端末の動作（通話、データ通信等）には影響ありません。 本エラーが繰り返し表示される場合は、電池パックの取扱説明書の「取り扱い上のご注意」内に記載されている充電時の推奨周辺温度を再度ご確認ください。

エラーコード	内容	対処方法
109: MST: Battery over charge detected	電池パックの電圧が異常です。	直ちに充電および電池パックの使用を中止し、法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。
110: MST: Battery failure detected	電池パックが故障しています。	直ちに使用を中止し、法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。
111: MST: Temperature beyond operating range	衛星端末本体の温度が非常に高温になっています。	温度が低下するまでしばらくお待ちください。
112: MST: Invalid charger detected	非対応のACアダプタを検知しました。	衛星端末に対応したACアダプタをお使いください。
113: MST: Short circuit or WS-II connected at EA/TA antenna port	ワイドスターIIアンテナの接続またはアンテナ接続端子の異常を検知しました。	アンテナ接続端子をご確認の上、再度接続してください。また、ワイドスターIIアンテナは本衛星端末にて非対応となります。

※追尾アンテナは可搬型端末には接続できません。

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったときに、お客様ご自身で診断することができます。詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
- エラーの内容は衛星電話管理ツールまたはエラーコード一覧で確認することもできます。衛星電話管理ツールについて詳しくは、『取扱説明書』（PDF）をご覧ください。エラーコードについて詳しくは、「エラーコード一覧」をご覧ください。→P.53
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P.60
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、お気軽にご相談ください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

衛星端末

■ 衛星端末の電源が入らない

- CARモードで設置型端末用ACアダプタ（別売）を利用していませんか。
- 車載でご利用時、自動車のエンジンをかけていますか。
- 車載でご利用時、バッテリーがあがっていませんか。
- 電源ケーブルが衛星端末に正しく取り付けられていますか。
- 電源ケーブルがバッテリーなどの電源に正しく取り付けられていますか。
- 電源を切り、電源ケーブルを電源端子から取り外して、30秒以上経過してから、電源ケーブルを電源端子に再度取り付けて、電源を入れてください。

■ 衛星端末の電源が切れない

- 接続しているハンドセットの電源スイッチは「OFF」になっていますか。
- 衛星端末の電源スイッチは「○」側になっていますか。
- 上記をお試しいただいた上で5分以上電源が切れない場合は、電源ケーブル接続端子への給電を停止することで、電源を強制的に切ることができます。
  ※強制的に電源を切る操作のため、お客様が登録された情報や設定内容が消失･変化するおそれがあります。
- 上記をお試しいただいた後も解消しない場合は、法人営業担当者にお問い合わせください。

■ 使用中に熱くなる

- 使用中に、衛星端末の温度が高くなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

■ 電源断・再起動が起きる

- nanoSIMカードのIC部分が汚れていませんか。
- 追尾アンテナが正しく取り付けられていますか。
- しばらくたってからご使用ください。
- 電源の電圧が下がっていませんか。

■ nanoSIMカードを認識しない

- 使用できるnanoSIMカード以外を挿入していませんか。→P.20
- nanoSIMカードを正しい向きで挿入していますか。

■「無効なSIMです。」と表示される

- nanoSIMカードが正しく取り付けられていますか。→P.20
  nanoSIMカードが破損していたり、nanoSIMカード内の情報を正常に読み取れないなどの理由により、docomoから発行された正規のnanoSIMカードであることが確認できない場合に表示されます。上記をお試しいただいた後も解消しない場合は、法人営業担当者にお問い合わせください。

■ 圏外ランプが消灯しない

- 衛星端末本体とハンドセットの電源を入れ直してください。→P.27
- 上記をお試しいただいた後も解消しない場合は、GPS設定ONの場合はOFFへ、GPS設定OFFの場合はONへ切り替えたのち再度、衛星端末本体とハンドセットの電源を入れ直してください。GPS設定について詳しくは、『取扱説明書』（PDF）をご覧ください。

ハンドセット

■ ハンドセットの電源が入らない

- 衛星端末にしっかりと接続されていますか。
- 衛星端末の電源スイッチは「｜」側になっていますか。
- 停電からの復旧時などハンドセットの電源が入らない場合は、衛星端末とハンドセットの電源スイッチを「○」側もしくは「OFF」にした後、衛星端末の電源スイッチを「｜」側にし、衛星端末の起動完了後ハンドセットの電源スイッチを「ON」にしてください。

■ 電源断・再起動が起きる

- 衛星端末にしっかりと接続されていますか。

■ 起動中のまま待受画面が表示されない。

- 衛星端末にしっかりと接続されていますか。

■ ダイヤル発信できない

- ダイヤルロックを設定していませんか。
- 発信制限を設定していませんか。
- 終話後、時間を空けてから発信していますか。

■ 着信音が鳴らない

- 着信音量設定を「1」に設定していませんか。
- 着信制限を設定していませんか。
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していませんか。

■ 通話ができない（例：場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- 電源を入れ直すか、衛星端末の状態を確認してください。
- 電波の性質により、「圏外ではない」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 着信制限を設定していませんか。

- 発信制限を設定していませんか。
- 電波の混み具合により、電話やデータ通信がつながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ ディスプレイが暗い

- 輝度設定を「1」に設定していませんか。

■ 画面表示が消えた

- 電源が切れていませんか。
- 衛星端末の電源が切れていませんか。

■ 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

- 受話音量を変更していませんか。

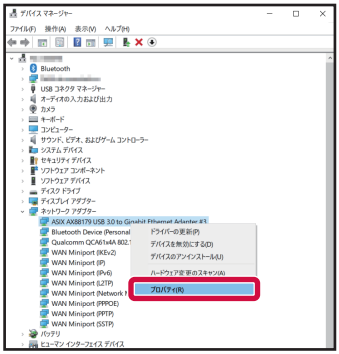
接続

■ パソコンと衛星端末との接続が確認できない

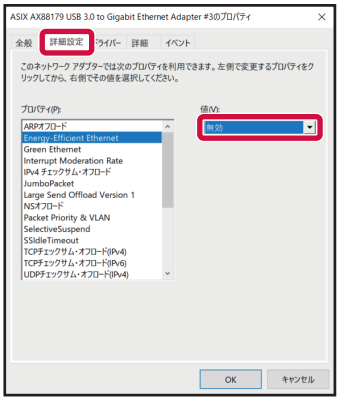
- 以下①、②のような状態のときは、パソコンの設定を変更してみてください。
  ①パソコンから衛星電話端末へのpingが失敗する。
  ②衛星電話管理ツールのURLに接続できない。

設定の変更方法

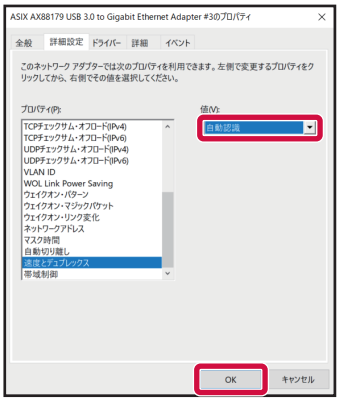
1. **お使いのパソコンで「デバイス マネージャー」を開き、「ネットワーク アダプター」からイーサネットアダプタを選択し、右クリックして「プロパティ」を選択**



2. **「詳細設定」タブから「Energy-Efficient Ethernet」（省電力イーサネット）を選択し、「無効」（disable）または「オフ」（Off）に設定**
   - 一部のパソコンでは「Energy-Efficient Ethernet」（省電力イーサネット）が存在しません。その場合は操作3.に進んでください。



3.「速度とデュプレックス」(speed and duplex)」を選択し、「自動認識」(auto negotiation)に設定して「OK」をクリック



※お使いのパソコンによっては、表示が異なる場合があります。

端末初期化

衛星端末を工場出荷状態に戻します。
衛星端末を初期化（リセット）するには、ハンドセットから設定メニューを操作する方法、衛星端末のRESETボタンを利用する方法、衛星端末に接続したパソコンなどから衛星電話管理ツールを利用する方法の3通りがあります。
ここでは、ハンドセットから設定メニューを操作する方法と、衛星端末のRESETボタンを利用する方法について説明します。
- 衛星電話管理ツールでの初期化（リセット）について詳しくは、『取扱説明書』（PDF）をご覧ください。

お知らせ

- 衛星端末を初期化（リセット）すると、SMSの受信BOXはお買い上げ時の状態に戻ります。
- 初期化（リセット）中は、電源を切ったり、ACアダプタを取り外したりしないようご注意ください。また自動車のエンジンを切らないようにしてください。

ハンドセットの設定メニューで初期化（リセット）する

1 待受画面で ■ ▶[設定]▶[リセット]

2 [本体]▶本体認証コードを入力▶ ⊓ (はい)

3 初期設定(→P.28)を行う

お知らせ

- 上記の操作2で「設定リセット」／「電話帳一括削除」／「全データー括削除」を選択すると、以下の内容を初期化できます。
  - 「設定リセット」：ハンドセットの設定
  - 「電話帳一括削除」：ハンドセット内に保存されている電話帳データ
  - 「全データー括削除」：ハンドセット内のすべてのデータ（設定、電話帳、SMS（未送信BOX／送信BOX内））

衛星端末のRESETボタンで初期化（リセット）する

1 衛星端末の電源を入れる

2 nanoSIMカードカバーを開け、まっすぐに伸ばしたペーパークリップなどでRESETボタンを約10秒間押し続ける

衛星端末が再起動すると初期化（リセット）が完了します。

保証とアフターサービス

保証について

- 衛星端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 衛星端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 衛星端末およびハンドセットの故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。

修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱拠点（店頭もしくはホームページ）にて修理を受付いたします。
お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。
なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても、お客様のお取り扱い不良（外部接続端子・ディスプレイなどの破損）による故障・損傷、ドコモ指定の故障取扱拠点以外で修理を行ったことがある場合などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
- ドコモ指定の故障取扱拠点以外で修理を行ったことがある場合

※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

修理受付対応状況については、ホームページをご覧ください。
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱拠点へお問い合わせください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

お願い

- 衛星端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。

  以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - ディスプレイ部やボタン部などにシールなどを貼る
  - 接着剤などにより衛星端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど

  改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 衛星端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
  - 銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、衛星端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。
  - お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- ハンドセットの下記箇所に、磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  - 使用箇所：スピーカー、受話口
- 衛星端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切り、お早めにドコモ指定の故障取扱拠点にて修理を実施することをおすすめいたします。ただし、衛星端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

衛星端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、当社では補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新とは、衛星端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。必ず最新ソフトウェアへの更新をお願いいたします。ソフトウェアの更新の種類としては以下の4つがあります。

- 衛星端末
- ハンドセット
- 屋外設置アンテナ
- 追尾アンテナ

これらの衛星端末とオプション品のバージョンアップファイルの組み合わせはあらかじめ決められております。指定したバージョン以外の組み合わせでのご利用は動作保証外となります。
これらの更新は、お客様ご自身の責任において実施していただく必要があります。
衛星端末に提供されている具体的なソフトウェア更新の内容およびバージョンの組み合わせ、期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

ソフトウェア更新を行う

衛星端末のソフトウェア更新は、衛星端末に接続したパソコンなどから、衛星電話管理ツールを利用して行います。

ソフトウェアを更新する

1 **衛星電話管理ツール画面で[ツール]タブ**

2 **[1. ソフトウェア]メニュー**

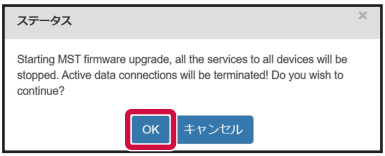
3 **[ファイルの選択]▶ソフトウェアの更新用ファイルを選択**

ファイルを選択する画面が表示されますので、ソフトウェア更新ファイルを選択してください。
選択が終わると、以下のように選択したファイル名が一部表示されます。

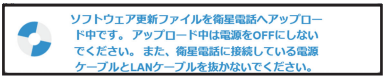
4 **[ソフトウェア更新]**

以下の画面が表示されます。[OK]をクリックするとデータ通信が切断され、ソフトウェア更新が開始されます。

- ソフトウェア更新中は音声発信やSMSなどのサービスができなくなりますのでご注意ください。



上記の画面で[OK]をクリックすると以下の画面が表示され、衛星端末へのソフトウェア更新用ファイルのアップロードが開始されます。

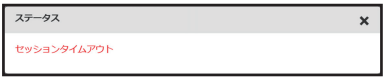


アップロードが完了し、ソフトウェアの更新が始まると以下の画面が表示されます。

ソフトウェア更新中はLEDパネル全体が点滅します。ソフトウェア更新が完了すると衛星端末本体の再起動が開始され、衛星電話管理ツールの接続が切断されます。

再起動が完了した後、衛星電話管理ツールにアクセスすると以下の画面が表示されます。

- 衛星電話管理ツールにアクセスしているブラウザ等を閉じた場合は、以下の画面が表示されない場合があります。



この後、衛星電話管理ツールにログインすると、以下の画面が表示されます。

衛星電話管理ツール画面で［ツール］タブをクリックし、ソフトウェアが更新されていることをご確認ください。

■ 注意事項

- ソフトウェア更新完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- 通話中はソフトウェアの更新はできません。ソフトウェア更新には再起動が伴い、その間は電話の発着信を含めすべて機能をご利用いただけません。
- ハンドセットに保存されているSMSや電話帳のデータは、ソフトウェアの更新後も保持されます。
- ソフトウェア更新は、衛星端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障･破損･水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。
- ハンドセットのソフトウェア更新を実施するためには、衛星端末本体のソフトウェアバージョンがJupiter-MSE-MST.4.1132.E以降である必要があります。ハンドセットの更新の前に、必ず衛星端末本体をJupiter-MSE-MST.4.1132.E以降のバージョンに更新してください。
- ハンドセットのソフトウェアを更新中にハンドセットが再起動しますが、その後衛星端末本体も再起動を伴うためハンドセットが合計2回再起動します。ソフトウェア更新後のハンドセットの操作は衛星端末本体が再起動した後に行ってください。
- 屋外設置アンテナのソフトウェア更新には約15分の時間を要します。
- 追尾アンテナのソフトウェア更新には約30分の時間を要します。
- 追尾アンテナのソフトウェア更新は設置型端末で実施してください。
- ソフトウェアの更新ができない場合は、以下の状況になっていないかを確認してください。ソフトウェア更新の妨げになっている可能性があります。
  - 通話中
  - 日付・時刻を正しく設定していないとき
- ソフトウェア更新中は電源を切ったり、ACアダプタやLANケーブルを取り外したりしないでください。
- サポート期間中にソフトウェア更新に失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、ご相談ください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。
- サポート期間終了後にソフトウェア更新が配信される場合がございますが、ソフトウェア更新についてはお客さまの責任において実施してください。
- ソフトウェアの更新が正しく行われないと、ソフトウェアが正しく動作しなくなったり、重要なデータが消失する可能性があります。安全かつ快適な利用のため、ITに精通した方のアドバイスや指導のもと、正しい手順での実施をお願いいたします。

- ソフトウェア更新を実施した際、本体LEDの点滅状態が継続し「ソフトウェアを更新しました」のメッセージ表示を確認できなかった場合、更新に失敗している可能性があります。衛星端末の初期化（リセット）を実施してください。→P.58
- ソフトウェア更新にかかる時間は、概ね以下となります。
  - 衛星端末：25分程度
  - ハンドセット：15分程度
  - 屋外設置アンテナ：20分程度
  - 追尾アンテナ（TA）：30分程度

輸出管理規制

本製品及び付属品は、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国再輸出規制の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。

知的財産権について

著作権

- お客様が本製品を利用してインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

商標

- 「ワイドスター」、「mopera U」、「WORLD CALL」は、株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。
- Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Google、Android、Google Chrome、Google Playは、Google LLCの商標または登録商標です。
- App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。TM and ® 2024 Apple Inc. All rights reserved.
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

索引

あ

アフターサービス 59
暗証番号 28
安全上のご注意 4
エラーコード一覧 53

か

各部の名称 14
緊急通報 35
故障かな？と思ったら 55

さ

自分の電話番号 30
商標 63
初期化（リセット） 58
ステータスバー 19
ソフトウェア更新 60

た

端末初期化 58
知的財産権 63
着信履歴 38
著作権 63
通話中保留 37
データ通信 44
電源を入れる 27
電源を切る 27
電話機／FAXとの接続 49
電話帳 39
電話帳登録 39
電話帳のグループ登録 40
電話帳編集 40
電話を受ける 37
電話をかける 33

は

パソコンとの接続 46
発信履歴 38
ハンドセット
　取り付け／取り外し 24
ハンドセットPIN 29
ハンドセット置台
　置く 25
　取り外す 26
保証 59
本体認証コード 29
本体付属品 1

ま

待受画面 19
無線LAN（Wi-Fi）接続 48
文字入力
　画面の見かた 31
　入力する 32

や

輸出管理規制 63

わ

ワイドスターIII アプリ 52
ワイドスターIII 衛星電話管理
ツール 50

英字

APN設定 50
LEDパネル 15
LEDランプ 18
nanoSIMカード
　取り付け／取り外し 20
SMS
　再送 43
　受信 42
　送信 41
　表示 42
　メニュー 43

マナーもいっしょに携帯しましょう

衛星電話を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

自動車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に衛星電話の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。

■ 劇場・映画館・美術館・図書館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で衛星電話を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で衛星電話を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

歩きながらの使用はやめましょう

■ 衛星電話の画面を見つめながらの歩行は大変危険です。視野が極端に狭くなり、自分自身だけでなく、周囲の方も巻き込む事故につながることもあります。

■ 衛星電話を使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先
〈ドコモ ワイドスターコールセンター〉

0120-616-360

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
※海外からはご利用になれません。

受付時間　平日　　午前9:00～午後8:00（年中無休）
　　土日祝日　午前9:00～午後5:00（年中無休）
　　（年末年始：12/29～1/3は、土日祝日扱いとなります）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、法人営業担当者へお問い合わせください。
●ただし利用中断、再開、ネットワーク故障に関するお問い合わせは上記時間外も受付けいたします。
●記載の受付時間について、変更になる場合がございます。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方への心くばりを忘れずに。

モバイル・リサイクル・ネットワーク

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※ 回収対象：衛星端末、携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　Lockheed Martin Global, Inc.

'25.6（9版）
AWI68019-0109